

---

令和4年（2022年）

広島市消防局火災統計

広島市消防局予防部予防課調査係

---

# 令和4年（2022年）広島市消防局火災統計

## 目 次

<b>1 火災の現況と最近の動向</b>	1
(1) 令和4年の火災概要	1
(2) 火災の推移と傾向	2
(3) 行政区・受託市町別火災発生状況	2
(4) 行政区・受託市町別出火原因	2
(5) 行政区・受託市町別被害状況	2
<b>2 出火状況</b>	7
(1) 火災件数の構成比率	7
(2) 月別火災発生状況	8
(3) 四季別火災発生状況	8
(4) 1日当たりの火災状況	9
(5) 時間帯別火災発生状況	9
(6) 曜日別火災発生状況	10
(7) 行政区・受託市町別出火率	10
(8) 火災覚知方法別件数	11
(9) 初期消火方法別件数	11
<b>3 火災による死者の状況</b>	12
(1) 火災による死者の状況	12
(2) 月別発生状況	13
(3) 死因別発生状況	14
(4) 年齢階層別発生状況	14
(5) 出火原因別発生状況	15
(6) 住宅火災による発生状況	16
<b>4 火災による負傷者の状況</b>	17
(1) 火災による負傷者の状況	17
(2) 月別発生状況	18
(3) 負傷原因別発生状況	19
(4) 負傷程度別負傷者発生状況	19
<b>5 出火原因</b>	20
(1) 出火原因別発生状況	20
(2) 行政区・受託市町別出火原因件数	22
(3) 「たばこ」による火災の推移と傾向	23
(4) 「こんろ」による火災の推移と傾向	24
(5) 「放火（疑いを含む）」による火災の推移と傾向	25
(6) 「電気機器」による火災の推移と傾向	27
(7) 「配線器具」による火災の推移と傾向	28

<b>6</b>	<b>建物火災の主な出火原因</b>	29
(1)	建物火災の主な出火原因	29
(2)	「こんろ」による火災の発生状況	30
(3)	「たばこ」による火災の発生状況	31
(4)	「ストーブ」による火災の発生状況	32
(5)	「配線器具」による火災の発生状況	33
<b>7</b>	<b>林野火災の主な出火原因</b>	34
<b>8</b>	<b>車両火災の主な出火原因</b>	35
<b>9</b>	<b>その他の火災の主な出火原因</b>	36
<b>10</b>	<b>住宅用火災警報器と住宅火災</b>	37
(1)	住宅用火災警報器の設置率と住宅火災件数の推移	37
(2)	住警器と死傷者	38
(3)	住警器（自火報を含む）と火災概況	40
(4)	住警器奏功事例	41
<b>11</b>	<b>別表</b>	42

付属資料 昭和23年以降の火災発生状況

# 1 火災の現況と最近の動向

## (1) 令和4年の火災概要

令和4年中の広島市消防局管内の火災件数は257件で、前年に比べて10件増加している。

火災種別では、「建物火災」160件、「林野火災」4件、「車両火災」19件、「船舶火災」2件、「その他の火災」が72件となっている。

出火原因別にみると、「たばこ」による火災が39件、「こんろ」による火災が31件、「放火（疑いを含む）」による火災が19件、「電気機器」と「配線器具」による火災がそれぞれ13件となっている。

被害状況をみると、建物焼損面積13,319㎡、林野焼損面積10a、損害額56億4,298万円、死者9人、負傷者45人となっている。（第1-1表）

第1-1表 令和4年の火災概要

区分	令和4年			令和3年			増減				
	管内	広島市	受託市町	管内	広島市	受託市町	管内	広島市	受託市町		
火災発生状況 (件)	総数	257	242	15	247	223	24	10	19	▲9	
	建物火災	160	152	8	154	134	20	6	18	▲12	
	住宅火災	90	87	3	88	75	13	2	12	▲10	
	林野火災	4	3	1	6	5	1	▲2	▲2	0	
	車両火災	自動車	19	18	1	27	27	0	▲8	▲9	1
		鉄道	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	船舶火災	2	2	0	1	1	0	1	1	0	
その他の火災	72	67	5	59	56	3	13	11	2		
出火原因 (件)	たばこ	39	38	1	32	28	4	7	10	▲3	
	こんろ	31	31	0	30	29	1	1	2	▲1	
	放火（疑いを含む）	19	18	1	30	26	4	▲11	▲8	▲3	
	電気機器	13	13	0	10	10	0	3	3	0	
	配線器具	13	12	1	10	8	2	3	4	▲1	
	たき火	11	10	1	20	19	1	▲9	▲9	0	
	ストーブ	10	10	0	9	7	2	1	3	▲2	
	電灯・電話等の配線	9	8	1	9	9	0	0	▲1	1	
	上記以外	112	102	10	97	87	10	15	15	0	
被害状況	焼損面積	建物（㎡）	13,319	12,884	435	6,293	5,849	444	7,026	7,035	▲9
		林野（a）	10	7	3	39	38	1	▲29	▲31	2
	損害額（千円）	5,642,980	5,615,923	27,057	802,773	773,407	29,366	4,840,207	4,842,516	▲2,309	
	焼損棟数（棟）	229	215	14	254	226	28	▲25	▲11	▲14	
	り災世帯（世帯）	143	141	2	190	174	16	▲47	▲34	▲14	
	り災人員（人）	278	275	3	376	330	46	▲98	▲55	▲43	
	死者（人）	9	9	0	15	12	3	▲6	▲3	▲3	
	負傷者（人）	45	44	1	39	37	2	6	7	▲1	

(備考) 注1 各年の数値は、1月～12月に発生した火災を集計したものの。  
 注2 「建物火災」とは、建物又はその収容物が焼損した火災をいう。  
 注3 「住宅火災」とは、専用住宅、併用住宅及び共同住宅における火災をいう。  
 注4 「車両火災」とは、自動車車両、鉄道車両及びけん引車又はこれらの積載物が焼損した火災をいう。  
 注5 「林野火災」とは、森林、原野又は牧野が焼損した火災をいう。  
 注6 「船舶火災」とは、船舶又はその積載物が焼損した火災をいう。  
 注7 「その他の火災」とは、建物火災、車両火災、林野火災及び航空機火災以外の火災（空地、田畑、道路、河川敷、ごみ集積場、屋外物品集積所、軌道敷、電柱類等の火災）をいう。  
 注8 死者には、火災により負傷した後、48時間以内に死亡した者を含む。  
 注9 ▲は負数を表す。

## (2) 火災の推移と傾向

過去10年間（平成25年～令和4年）の火災件数をみると、420件であった平成25年以降、おおむね減少傾向となっている。令和4年中の火災件数（257件）は、この10年で最も多かった平成25年中の火災件数（420件）の61.2%となっている。

また、建物焼損床面積は、平成25年から平成28年まで減少傾向で、それ以降は4,000㎡前後でほぼ横ばいとなり、令和3年には一部の大火災により6,293㎡と増加している。なお、令和4年についても一部の大火災により、13,319㎡と大幅に増加している。

過去10年間の火災件数を主な火災種別ごとにみると、全ての火災種別で、おおむね減少傾向となっており、特に「建物火災」と「その他の火災」が顕著に減少している。

火災による損害額は、平成30年と令和3年を除きおおむね減少傾向となっているが、令和4年は一部の大火災により、56億4,298万円と大幅に増加している。

火災による死者は、平成26年の30人、平成27年の20人を除き10人前後であり、ほぼ横ばいとなっており、令和4年は9人の死者が発生している（第1-1図）。

## (3) 行政区・受託市町別火災発生状況

令和4年中の火災件数について、行政区別に発生状況をみると、「中区」が45件で最も多く、次いで、「安佐北区」が44件となっている。

受託市町では、「熊野町」が7件で最も多く、次いで、「海田町」が4件となっている。（第1-2表）。

## (4) 行政区・受託市町別出火原因

令和4年中の火災件数について、行政区別の出火原因上位2つをみると、「安芸区」で「たばこ」による火災が6件、「中区」及び「東区」でもそれぞれ4件増加している。一方で「西区」及び「佐伯区」ではそれぞれ3件減少している。

また、「こんろ」による火災件数は、「安佐南区」は5件増加する一方、「東区」では3件減少している（第1-3表）。

## (5) 行政区・受託市町別被害状況

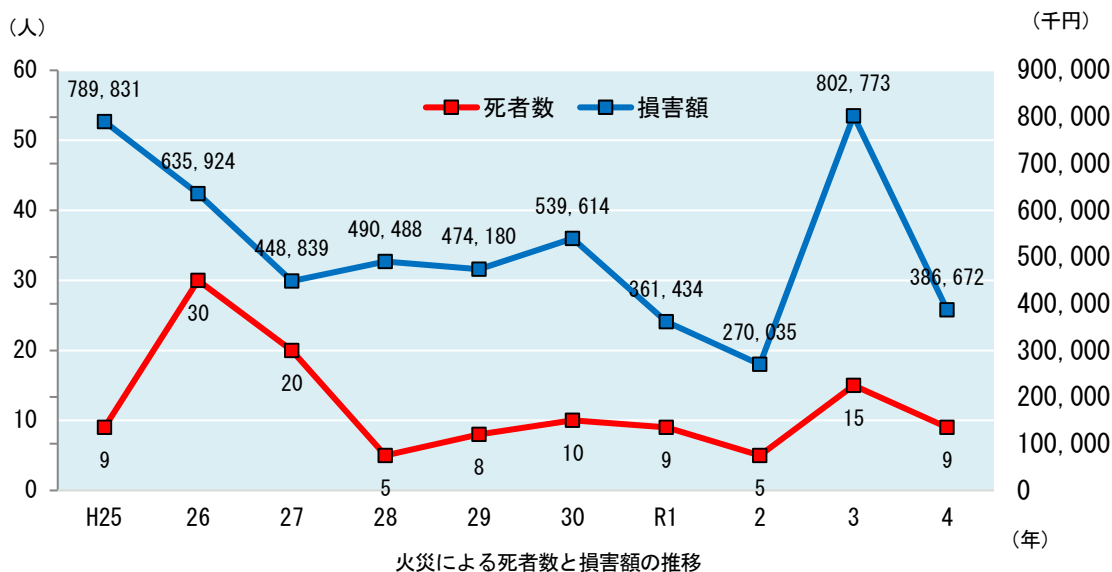
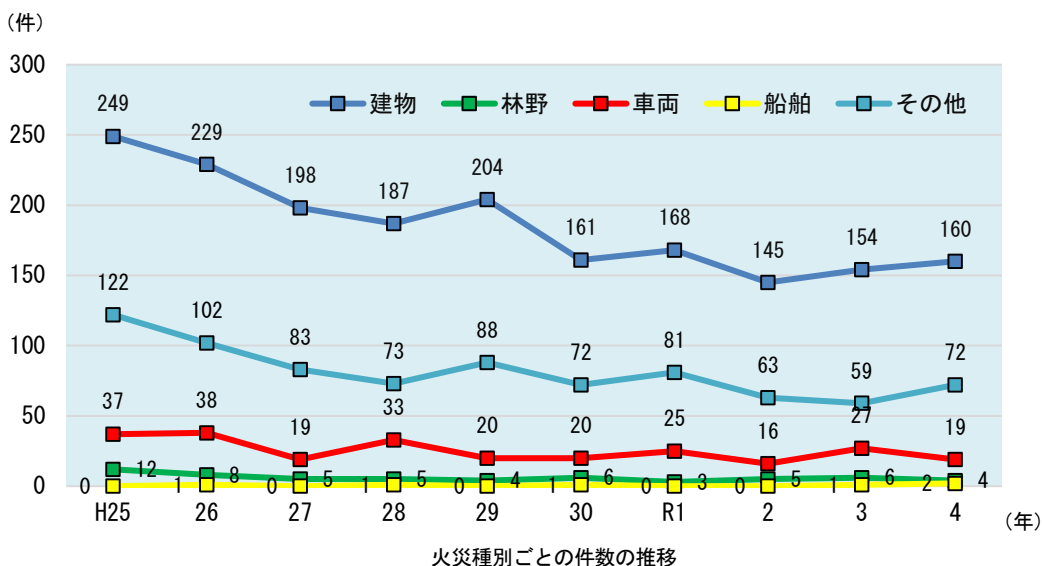
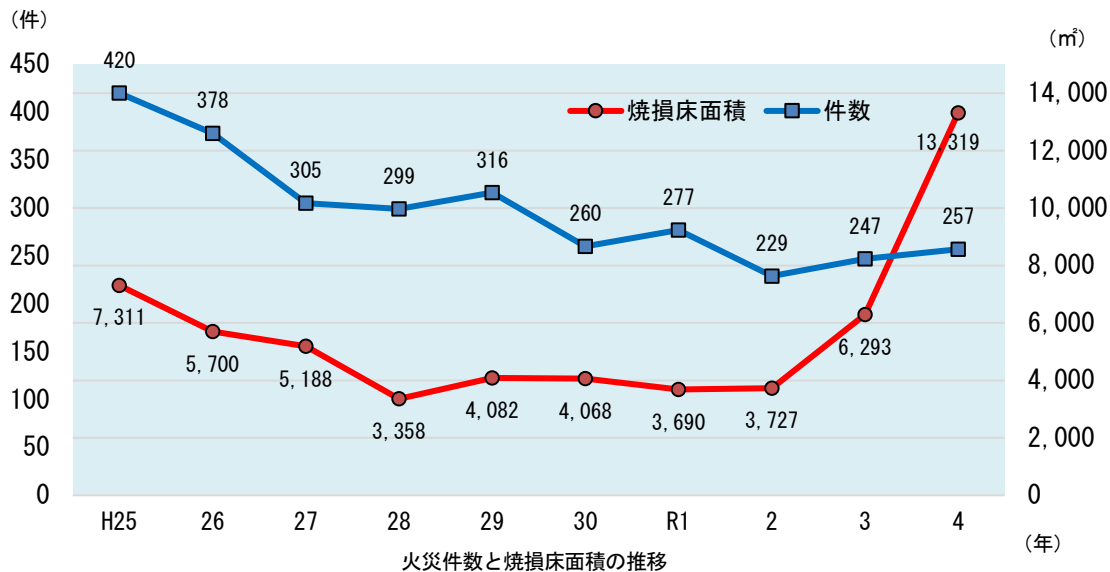
令和4年中の火災について、行政区別に被害状況をみると、損害額は、「中区」が52億9,336万8千円で最も多いがこれは一部の大火災によるものである。次いで、「安佐北区」が1億797万6千円となっている。また、焼損床面積は、「中区」が9,475㎡で最も多くなっているが、これも一部の大火災によるものである。

受託市町をみると、損害額及び焼損床面積ともに「熊野町」が最も多くなっている。

損害額増減割合を前年と比べると、行政区別では、「中区」が最も増加し、「南区」が最も減少しており、受託市町では、「坂町」が最も増加し、「安芸太田町」が最も減少している。

また、火災による死者は、行政区別では、「安芸区」で最も多く3人発生しており、受託市町では、死者は発生していない（第1-4表）。

第1-1図 火災の推移と傾向



(備考) 注1 「火災件数」及び「死者数」は左軸を、「焼損床面積」及び「損害額」は右軸を参照。  
 注2 令和4年の「損害額」については、一部の大火災による損害額を除く。

第1-2表 行政区・受託市町別火災発生状況

(件)

区分	総計		建物火災		林野火災		車両火災		船舶火災		その他の火災		
	令和4年	令和3年	令和4年	令和3年	令和4年	令和3年	令和4年	令和3年	令和4年	令和3年	令和4年	令和3年	
広島市	中区	45	29	30	26	0	0	2	1	0	0	13	2
	増減数	16		4		0		1		0		11	
	東区	16	20	9	10	0	0	0	3	0	0	7	7
	増減数	▲4		▲1		0		▲3		0		0	
	南区	26	35	15	24	0	0	1	5	2	1	8	5
	増減数	▲9		▲9		0		▲4		1		3	
	西区	32	31	21	20	0	0	3	4	0	0	8	7
	増減数	1		1		0		▲1		0		1	
	安佐南区	32	26	22	13	0	1	5	5	0	0	5	7
	増減数	6		9		0		0		0		▲2	
	安佐北区	44	32	25	16	0	1	4	6	0	0	15	9
増減数	12		9		▲1		▲2		0		6		
安芸区	16	19	10	8	1	1	0	1	0	0	5	9	
増減数	▲3		2		▲1		▲1		0		▲4		
佐伯区	31	31	20	17	2	2	3	2	0	0	6	10	
増減数	0		3		0		1		0		▲4		
計	242	223	152	134	3	5	18	27	2	1	67	56	
増減数	19		18		▲2		▲9		1		11		

受託市町	海田町	4	14	1	12	0	0	1	0	0	0	2	2
	増減数	▲10		▲11		0		1		0		0	
	坂町	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0
	増減数	1		0		0		0		0		1	
	熊野町	7	6	5	4	0	1	0	0	0	0	2	1
	増減数	1		1		▲1		0		0		1	
	安芸太田町	3	4	2	4	1	0	0	0	0	0	0	0
	増減数	▲1		▲2		1		0		0		0	
	廿日市市吉和	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	増減数	0		0		0		0		0		0	
	計	15	24	8	20	1	1	1	0	0	0	5	3
増減数	▲9		▲12		0		1		0		2		

総計	257	247	160	154	4	6	19	27	2	1	72	59
増減数	10		6		▲2		▲8		1		13	

第1-3表 行政区・受託市町別出火原因

(件)

区分	総計		たばこ		こんろ		放火(疑いを含む)		電気機器		配線器具		左記以外		
	令和4年	令和3年	令和4年	令和3年	令和4年	令和3年	令和4年	令和3年	令和4年	令和3年	令和4年	令和3年	令和4年	令和3年	
広島市	中区	45	29	9	5	9	9	3	2	2	1	1	2	21	10
	増減数	16		4		0		1		1		▲1		11	
	東区	16	20	4	0	1	4	1	3	0	1	2	0	8	12
	増減数	▲4		4		▲3		▲2		▲1		2		▲4	
	南区	26	35	4	4	4	4	0	5	3	4	1	1	14	17
	増減数	▲9		0		0		▲5		▲1		0		▲3	
	西区	32	31	5	8	4	5	5	2	1	0	3	2	14	14
	増減数	1		▲3		▲1		3		1		1		0	
	安佐南区	32	26	6	5	5	0	3	4	3	2	1	0	14	15
	増減数	6		1		5		▲1		1		1		▲1	
	安佐北区	44	32	2	1	4	2	2	3	1	1	2	0	33	25
	増減数	12		1		2		▲1		0		2		8	
安芸区	16	19	6	0	1	1	1	3	0	0	1	0	7	15	
増減数	▲3		6		0		▲2		0		1		▲8		
佐伯区	31	31	2	5	3	4	3	4	3	1	1	3	19	14	
増減数	0		▲3		▲1		▲1		2		▲2		5		
計	242	223	38	28	31	29	18	26	13	10	12	8	130	122	
増減数	19		10		2		▲8		3		4		8		

受託市町	海田町	4	14	0	3	0	1	1	4	0	0	0	2	3	4
	増減数	▲10		▲3		▲1		▲3		0		▲2		▲1	
	坂町	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	増減数	1		1		0		0		0		0		0	
	熊野町	7	6	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	6	6
	増減数	1		0		0		0		0		1		0	
	安芸太田町	3	4	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	3	3
増減数	▲1		▲1		0		0		0		0		0		
廿日市市吉和	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
増減数	0		0		0		0		0		0		0		
計	15	24	1	4	0	1	1	4	0	0	1	2	12	13	
増減数	▲9		▲3		▲1		▲3		0		▲1		▲1		

総計	257	247	39	32	31	30	19	30	13	10	13	10	142	135
増減数	10		7		1		▲11		3		3		7	



第1-4表 行政区・受託市町別被害状況

区分	損害額 (千円)		焼損床面積 (㎡)		焼損表面積 (㎡)		林野焼損面積 (a)		死者 (人)		負傷者 (人)		
	令和4年	令和3年	令和4年	令和3年	令和4年	令和3年	令和4年	令和3年	令和4年	令和3年	令和4年	令和3年	
広島市	中区	5,293,368	84,367	9,475	1,168	127	444	0	0	0	3	12	6
	増減数	5,209,001		8,307		▲317		0		▲3		6	
	東区	26,713	11,952	264	61	82	2	0	0	1	0	4	4
	増減数	14,761		203		80		0		1		0	
	南区	7,789	197,459	16	1,459	13	517	0	0	1	3	2	6
	増減数	▲189,670		▲1,443		▲504		0		▲2		▲4	
	西区	35,890	39,895	431	338	12	113	0	0	2	3	5	3
	増減数	▲4,005		93		▲101		0		▲1		2	
	安佐南区	51,244	341,766	387	1,569	29	823	0	11	0	1	6	4
	増減数	▲290,522		▲1,182		▲794		▲11		▲1		2	
	安佐北区	107,976	16,520	1,341	534	181	5	0	5	1	1	9	5
	増減数	91,456		807		176		▲5		0		4	
安芸区	60,241	34,243	718	352	106	74	1	1	3	0	3	5	
増減数	25,998		366		32		0		3		▲2		
佐伯区	32,702	47,205	252	368	112	87	6	21	1	1	3	4	
増減数	▲14,503		▲116		25		▲15		0		▲1		
計	5,615,923	773,407	12,884	5,849	662	2,065	7	38	9	12	44	37	
増減数	4,842,516		7,035		▲1,403		▲31		▲3		7		

受託市町	海田町	2,001	3,540	0	43	0	24	0	0	0	1	0	1
	増減数	▲1,539		▲43		▲24		0		▲1		▲1	
	坂町	133	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	増減数	133		0		0		0		0		0	
	熊野町	22,352	15,504	344	115	62	13	0	1	0	1	1	1
	増減数	6,848		229		49		▲1		▲1		0	
	安芸太田町	2,571	10,322	91	286	0	0	3	0	0	1	0	0
増減数	▲7,751		▲195		0		3		▲1		0		
廿日市市吉和	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
増減数	0		0		0		0		0		0		
計	27,057	29,366	435	444	62	37	3	1	0	3	1	2	
増減数	▲2,309		▲9		25		2		▲3		▲1		

総計	5,642,980	802,773	13,319	6,293	724	2,102	10	39	9	15	45	39
増減数	4,840,207		7,026		▲1,378		▲29		▲6		6	

## 2 出火状況

### (1) 火災件数の構成比率

令和4年中の火災件数について、その構成比をみると、建物火災が全火災の62.3%で最も高い比率を占めている（第2-1表）。

建物火災のうち住宅火災件数を行政区・受託市町別にみると、「安佐北区」が6件増加する一方、「海田町」では8件減少している（第2-2表）。

第2-1表 火災件数の構成比率

火災種別	令和4年		令和3年	
	件数(件)	構成比(%)	件数(件)	構成比(%)
建物火災	160(90)	62.3	154(86)	62.4
林野火災	4	1.6	6	2.4
車両火災	19	7.4	27	10.9
船舶火災	2	0.8	1	0.4
その他の火災	72	28.0	59	23.9
総計	257	100.0	247	100.0

(備考) 注1 ( )内は住宅火災件数で、内数である。

注2 構成比総計欄の値が四捨五入により各値の合計と一致しない場合がある。

第2-2表 行政区・受託市町別の住宅火災件数

(件)

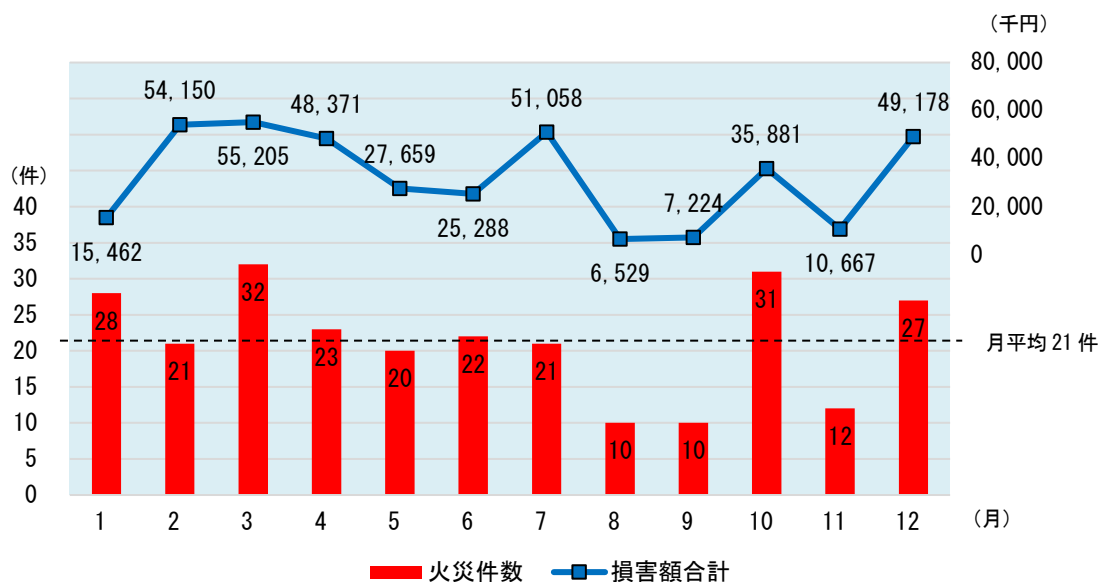
区分		令和4年	令和3年	増減数
広島市	中区	13	13	0
	東区	7	7	0
	南区	7	10	▲3
	西区	14	14	0
	安佐南区	13	8	5
	安佐北区	14	8	6
	安芸区	7	5	2
	佐伯区	12	9	3
広島市 計		87	74	13
受託市町	安芸郡海田町	0	8	▲8
	安芸郡坂町	0	0	0
	安芸郡熊野町	2	2	0
	安芸太田町	1	2	▲1
	廿日市市吉和	0	0	0
受託市町 計		3	12	▲9
総計		90	86	▲4

## (2) 月別火災発生状況

令和4年中の月別火災発生状況をみると、ひと月当たりの平均は21件で、「3月」が32件で最も多く、次いで、「10月」が31件となっている。

損害額を月別にみると、「3月」が最も多く、「8月」が最も少ない（第2-1図）。

第2-1図 令和4年月別火災発生状況



(備考) 注1 「火災件数」は左軸を、「損害額」は右軸を参照。

注2 一部の大火災により発生した損害額は除く。

## (3) 四季別火災発生状況

令和4年中の四季別火災発生状況をみると、「冬季（12月～2月）」が76件（構成比29.6%）で最も多く、「夏季（6月～8月）」及び「秋季（9月～11月）」がそれぞれ53件（構成比20.6%）で最も少ない（第2-3表）。

第2-3表 四季別火災発生状況

区分	令和4年				令和3年			
	火災件数(件)	構成比(%)	損害額(千円)	構成比(%)	火災件数(件)	構成比(%)	損害額(千円)	構成比(%)
春季(3月～5月)	75	29.2	131,235	33.9	67	27.1	153,423	19.1
夏季(6月～8月)	53	20.6	82,875	21.4	41	16.7	75,639	9.4
秋季(9月～11月)	53	20.6	53,772	13.9	53	21.5	148,889	18.6
冬季(12月～2月)	76	29.6	118,790	30.7	86	34.8	424,822	52.9
総計	257	100.0	386,672	100.0	247	100.0	802,773	100.0

(備考) 注1 一部の大火災により発生した損害額は除く。

注2 構成比総計欄の値が四捨五入により各値の合計と一致しない場合がある。

#### (4) 1日当たりの火災状況

令和4年中の火災件数（257件）と建物焼損面積（13,319㎡）を1日当たりに換算すると、火災件数は0.7件で、建物焼損面積は36.5㎡となっている（第2-4表）。

第2-4表 1日当たりの火災状況

区分		令和4年			令和3年		
		管内	広島市	受託市町	管内	広島市	受託市町
火災件数（件）		0.7	0.7	0.0	0.7	0.6	0.1
焼損面積	建物（㎡）	36.5	35.3	1.2	17.2	16.0	1.2
	林野（a）	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	0.0
損害額（千円）		1059.4	985.2	74.1	2,199.4	2,118.9	80.5
焼損棟数（棟）		0.6	0.6	0.0	0.7	0.6	0.1
り災世帯（世帯）		0.4	0.4	0.0	0.5	0.5	0.0
り災人員（人）		0.8	0.8	0.0	1.0	0.9	0.1
死者（人）		0.02	0.02	0.00	0.04	0.03	0.01
負傷者（人）		0.12	0.12	0.00	0.11	0.10	0.01

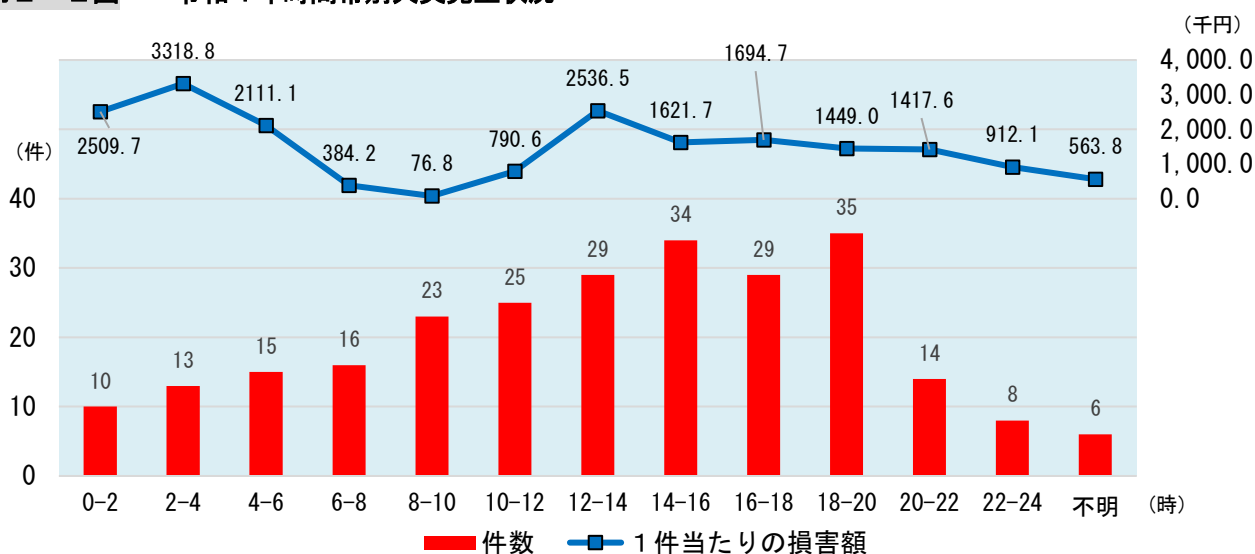
（備考） 注1 小数点第2位を四捨五入（死者及び負傷者の項目は小数点第3位を四捨五入）。  
注2 一部の大火災により発生した損害額は除く。

#### (5) 時間帯別火災発生状況

令和4年中の時間帯別火災発生状況をみると、「18時から20時」が35件で最も多く、「22時から24時」が8件で最も少ない。

1件当たりの損害額をみると、「2時から4時」が最も多く、次いで「12時から14時」が多くなっている（第2-2図）。

第2-2図 令和4年時間帯別火災発生状況

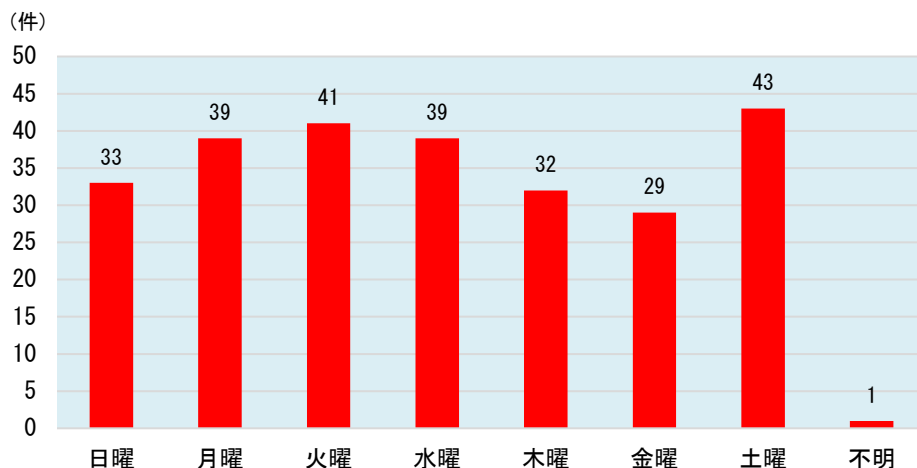


（備考） 注1 時間帯の「0-2」は、出火時刻が0時00分～1時59分までの間であることを示す。  
注2 1件当たりの損害額については、小数点第2位を四捨五入。  
注3 「火災件数」は左軸を、「1件当たりの損害額」は右軸を参照。  
注4 一部の大火災により発生した損害額は除く。

## (6) 曜日別火災発生状況

令和4年中の曜日別火災発生状況をみると、「土曜」が43件で最も多く、次いで「火曜」が41件となっており、「金曜」が29件で最も少ない（第2-3図）。

第2-3図 令和4年曜日別火災発生状況



## (7) 行政区・受託市町別出火率

令和4年中の出火率は、2.0件/万人で、広島市では2.0件/万人、受託市町では2.1件/万人となっている。

行政区別にみると、「中区」が3.3件/万人で最も高く、「東区」及び「安佐南区」が1.3件/万人で最も低く、受託市町別にみると、「安芸太田町」が5.2件/万人で最も高い（第2-5表）。

第2-5表 令和4年行政区・受託市町別出火率

区分		出火率（件/万人）	火災件数（件）	建物火災（件）	人口（人）
広島市	中区	3.3	45	30	136,343
	東区	1.3	16	9	118,738
	南区	1.8	26	15	141,310
	西区	1.7	32	21	187,173
	安佐南区	1.3	32	22	243,980
	安佐北区	3.1	44	25	140,538
	安芸区	2.1	16	10	77,591
	佐伯区	2.2	31	20	140,735
広島市 計		2.0	242	152	1,186,408
受託市町	海田町	1.3	4	1	30,436
	坂町	0.8	1	0	12,858
	熊野町	3.0	7	5	23,441
	安芸太田町	5.2	3	2	5,792
	廿日市市吉和	0.0	0	0	602
受託市町 計		2.1	15	8	73,129
総計		2.0	257	160	1,259,537

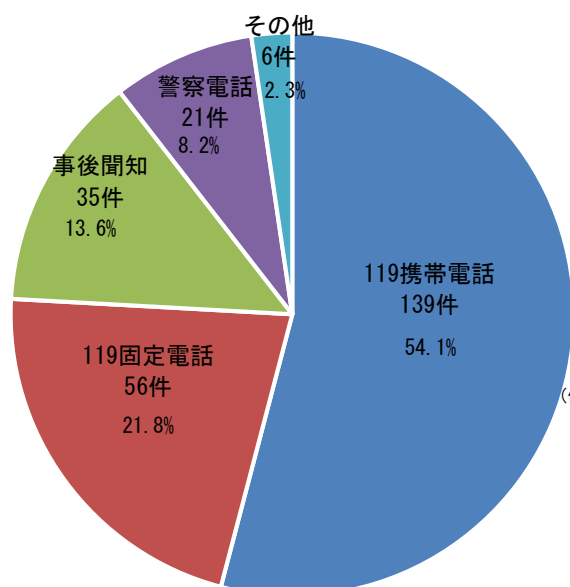
（備考） 注1 出火率とは、人口1万人当たりの火災件数をいう。

注2 人口は、令和4年3月末現在の住民基本台帳による。

### (8) 火災覚知方法別件数

令和4年中の火災覚知方法をみると、「携帯電話による119番通報」が54.1%を占めており、次いで、「固定電話による119番通報」が21.8%となっている（第2-4図）。

第2-4図 令和4年火災覚知方法別件数



(備考) 注1 「事後聞知」とは、消防機関が「このような火災があった」等、鎮火後に通報を受けた場合をいう。  
 注2 「警察電話」とは、広島県警察本部と広島市消防局間に設置されている専用の電話回線をいう。  
 注3 「その他」とは、消防職員が発見したものと及び消防署への加入通報や駆けつけにより覚知したものをいう。

### (9) 初期消火方法別件数

令和4年中の初期消火方法をみると、「水道等の水をかけた」が83件で最も多く、次いで、「粉末消火器」が38件となっている。一方で、初期消火を行っていない件数は67件となっている。

令和4年中の火災のうち、初期消火に成功したのは140件となり、初期消火の成功率は73.7%となっている（第2-6表）。

第2-6表 令和4年初期消火方法別件数及び成功率

区分	成功 (件)	失敗 (件)	総計 (件)	成功率 (%)
水道等の水をかけた	83	25	108	76.9%
粉末消火器	38	17	55	69.1%
寝具、衣類等をかけた	5	2	7	71.4%
もみ消した	2	0	2	100.0%
屋内消火栓設備	3	0	3	100.0%
その他	9	6	15	60.0%
総計	140	50	190	73.7%
初期消火なし			67	

(備考) 注1 「成功率」は、成功件数に総数を除すことで算出したもの。  
 注2 「その他」とは、「高圧洗浄機の噴射水」、「農業用ポンプ」、「モップ・箒等でたたき消す」等で初期消火を行ったもの。

### 3 火災による死者の状況

#### (1) 火災による死者の状況

令和4年中の火災による死者は9人で、前年に比べて6人減少している。

死者9人のうち、放火自殺者を除いた住宅火災による死者は7人で、このうち6人が65歳以上の高齢者となっている（第3-1表）。

過去10年間の死者数をみると、平成26年、平成27年及び令和3年を除き、10人前後で推移している（第3-1図）。

火災100件当たりの死者数をみると、火災件数が減少傾向にあるのに対し、死者数は平成26年、平成27年及び令和3年を除き3人前後であり、ほぼ横ばいとなっている（第3-2図）。

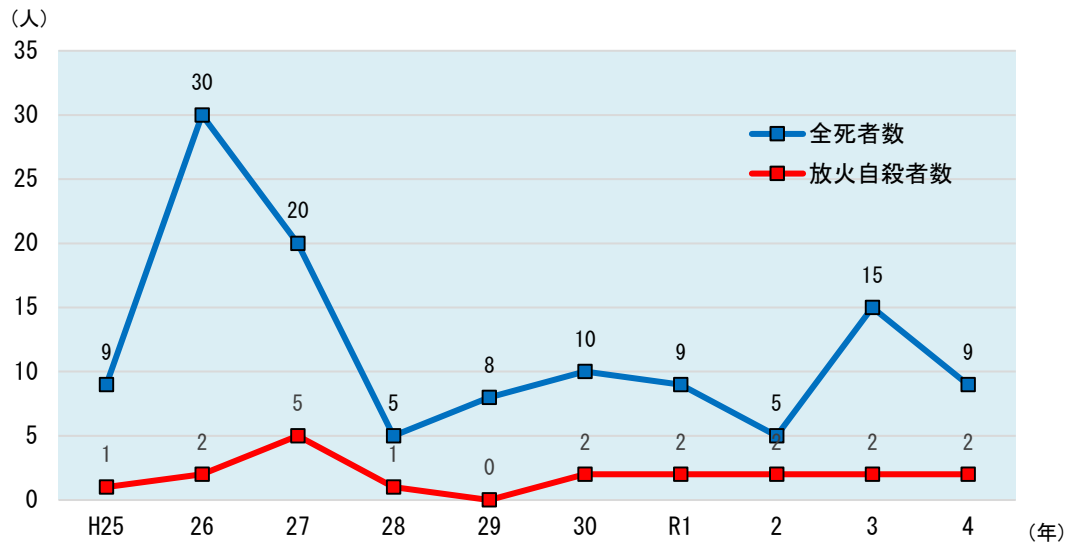
第3-1表 火災による死者発生状況

(人)

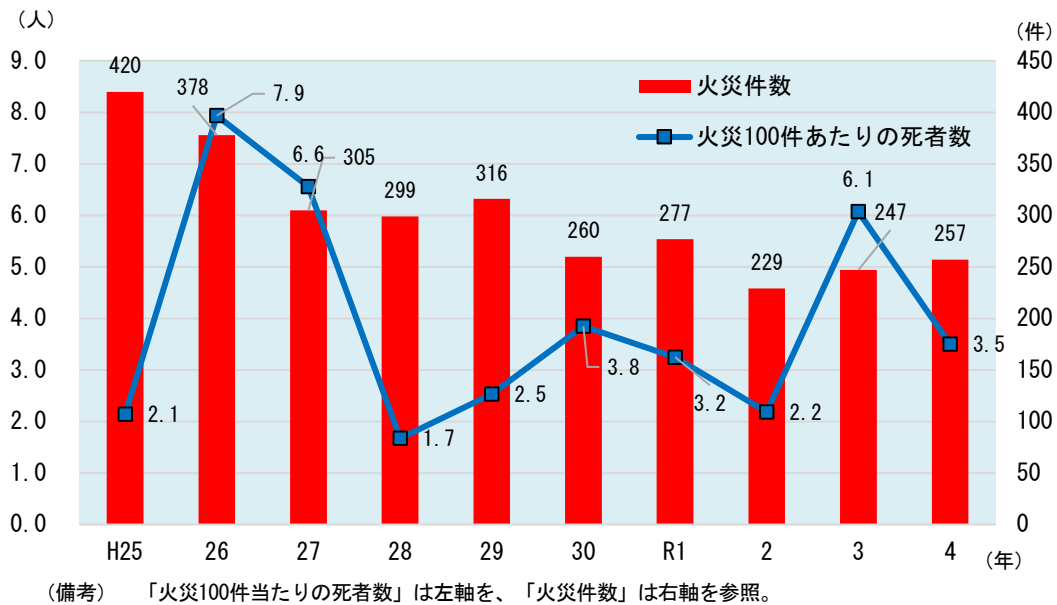
区分	65歳未満		65歳以上		総計		前年比
	令和4年	令和3年	令和4年	令和3年	令和4年	令和3年	
建物火災	2(1)	4(2)	7(1)	11(0)	9(2)	15(2)	▲6(0)
住宅火災	2(1)	3(1)	7(1)	10(0)	9(2)	13(1)	▲4(1)

(備考) ( ) は放火自殺者数で、内数である。

第3-1図 火災による死者数の推移



第3-2図 火災100件当たりの死者数の推移

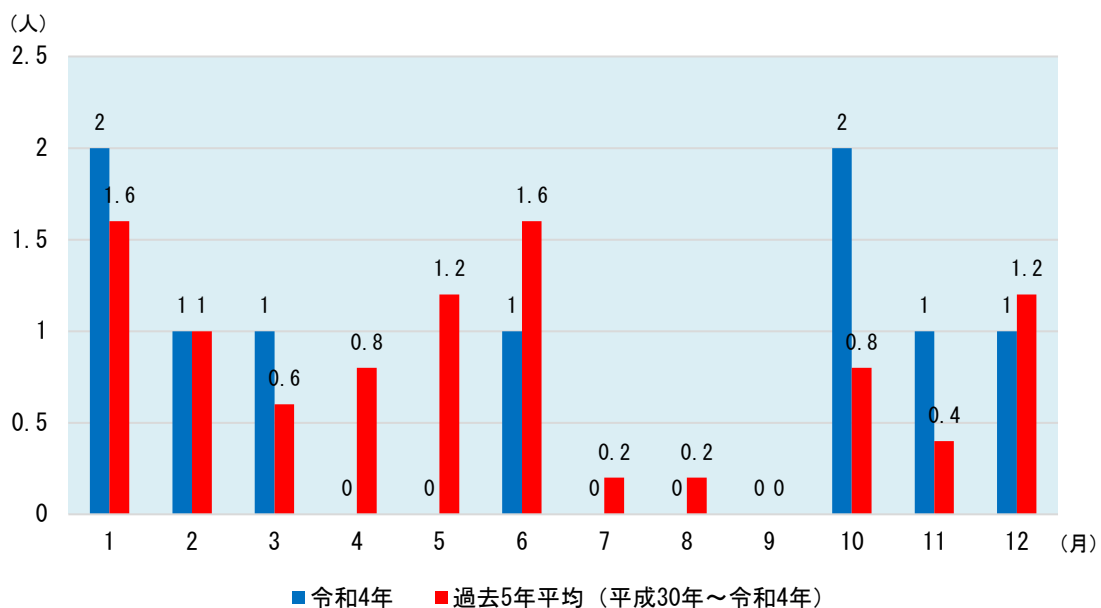


(2) 月別発生状況

令和4年中の火災による死者（9人）を月別にみると、「1月」及び「10月」にそれぞれ2人発生している。

また、過去5年間（平成30年～令和4年）の平均死者発生状況をみると、「1月」及び「6月」に最も多く発生している（第3-3図）。

第3-3図 過去5年間の月別死者発生状況（平成30年～令和4年）





### (3) 死因別発生状況

過去5年間の火災による死者(48人)を死因別にみると、「一酸化炭素中毒死」が18人で最も多く、次いで、「火傷死」が11人となっている(第3-2表)。

**第3-2表 過去5年間の火災による死因別死者発生状況(平成30年~令和4年)** (人)

区分	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	過去5年間 計
一酸化炭素中毒死	4	3	2	7	2	18
火傷死	3	2	0	3	3	11
自殺	2	2	2	2	2	10
焼死	1	2	1	2	2	8
不明	0	0	0	1	0	1
総計	10	9	5	15	9	48

(備考) 注1 「火傷死」とは、煙(CO)による影響が少なく、火災による熱傷に起因し死亡したもの。

注2 「焼死」とは、煙が作用したことにより、火傷を受け死亡したもの。

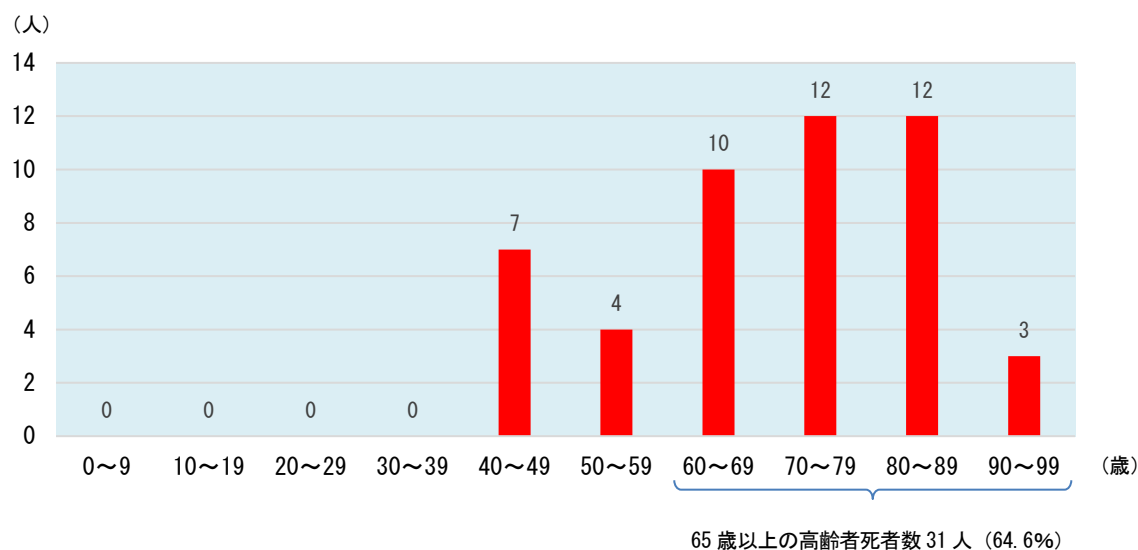
注3 「不明」とは、死因の特定に至らなかったもの。

### (4) 年齢階層別発生状況

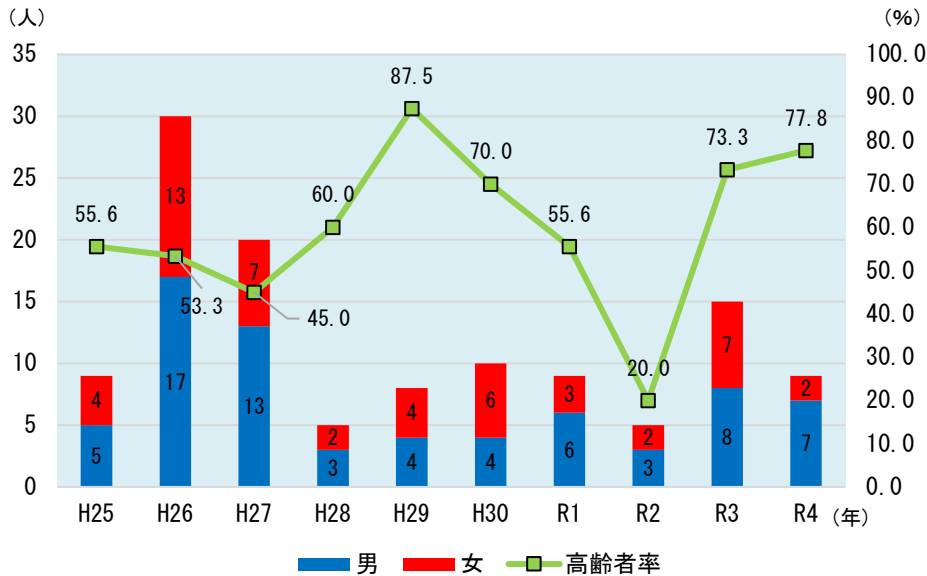
過去5年間の火災による死者(48人)を年齢別にみると、65歳以上の高齢者が31人で64.6%を占めている(第3-4図)。

過去10年間の高齢者の割合の推移をみると、87.5%であった平成29年以降、右肩下がりとなっているが、令和3年から高齢者の割合が高くなっており、令和4年には77.8%となっている。また、男女比では、年によって違いはあるものの、全体数でみると、男性37人、女性34人であり、顕著な傾向は見られない(第3-5図)。

**第3-4図 過去5年間の火災による年齢階層別死者発生状況(平成30年~令和4年)**



第3-5図 男女別死者発生状況（高齢者）及び高齢者の割合



(備考) 「男性」及び「女性」の死者数は左軸を、「高齢者の割合」は右軸を参照。

(5) 出火原因別発生状況

過去5年間の火災による死者（48人）を出火原因別にみると、「放火（疑いを含む）」が10件、「たばこ」が7件となっており、次いで、「ストーブ」及び「マッチ・ライター」がそれぞれ3件となっている（第3-3表）。

第3-3表 過去5年間の出火原因別死者発生状況（平成30年～令和4年）

区分	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	過去5年間計
放火（疑いを含む）	2	2	2	2	2	10
たばこ	2	2	0	3	0	7
ストーブ	1	0	0	1	1	3
マッチ・ライター	1	2	0	0	0	3
こんろ	0	0	0	1	1	2
灯火	1	0	0	1	0	2
たき火	0	1	0	0	0	1
火入れ	1	0	0	0	0	1
電灯・電話等の配線	0	0	0	1	0	1
配線器具	0	0	0	0	1	1
風呂かまど	1	0	0	0	0	1
不明・調査中	1	2	3	6	4	16
総計	10	9	5	15	9	48

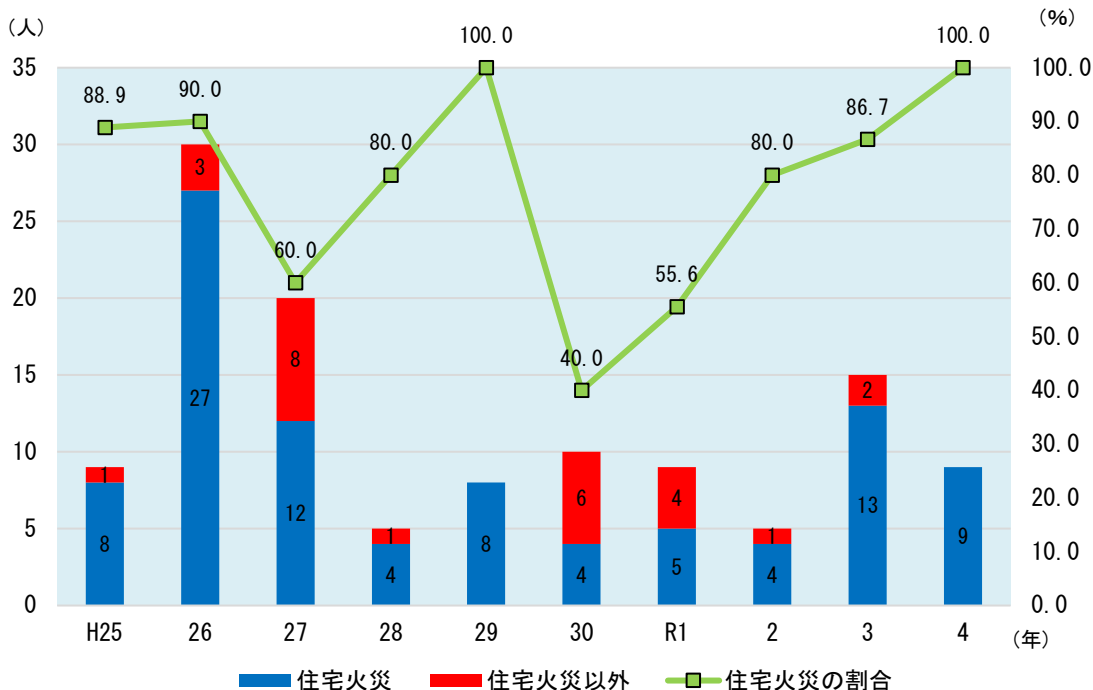
(備考) 「放火（疑いを含む）」には、放火自殺者を含む。

### (6) 住宅火災による発生状況

過去10年間の火災による死者（120人）のうち、「住宅火災」によるものは94人となっており、住宅火災の割合をみると、平成30年には4割まで減少しているが、それ以降増加傾向となっている（第3-6図）。

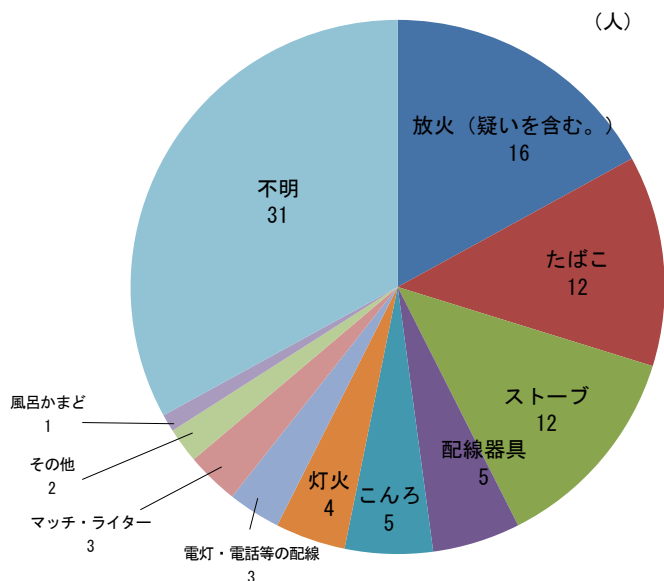
過去10年間の住宅火災による死者（94人）を出火原因別にみると、「放火（疑いを含む）」による死者が16人で最も多く、次いで「たばこ」及び「ストーブ」が12人となっている。また、一人暮らしの割合をみると、約4割が一人暮らしとなっている（第3-7・8図）。

第3-6図 住宅火災における出火原因別死者発生状況



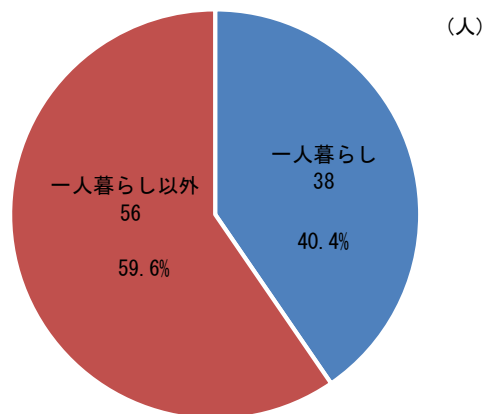
(備考) 「住宅火災」及び「住宅火災以外」の死者数は左軸を、「住宅火災の割合」は右軸を参照。

第3-7図 住宅火災における出火原因別死者発生状況 (平成25年～令和4年)



(備考) 注1 「放火 (疑いを含む)」には、放火自殺者を含む。  
注2 「その他」とは、こたつ等をいう。

第3-8図 住宅火災死者における一人暮らしの割合 (平成25年～令和4年)



## 4 火災による負傷者の状況

### (1) 火災による負傷者の状況

令和4年の負傷者は45人で、前年の39人に比べて6人増加している。

火災種別をみると「建物火災」による負傷者が42人で最も多く、全体の93.3%を占めている。

また、令和4年中の負傷者(45人)のうち、65歳以上の高齢者は16人であり、全体の35.6%となっている(第4-1表)。

過去10年間の負傷者数及び火災100件当たりの負傷者数をみると、年によって増減を繰り返しており、顕著な傾向は認められない。(第4-1・2図)。

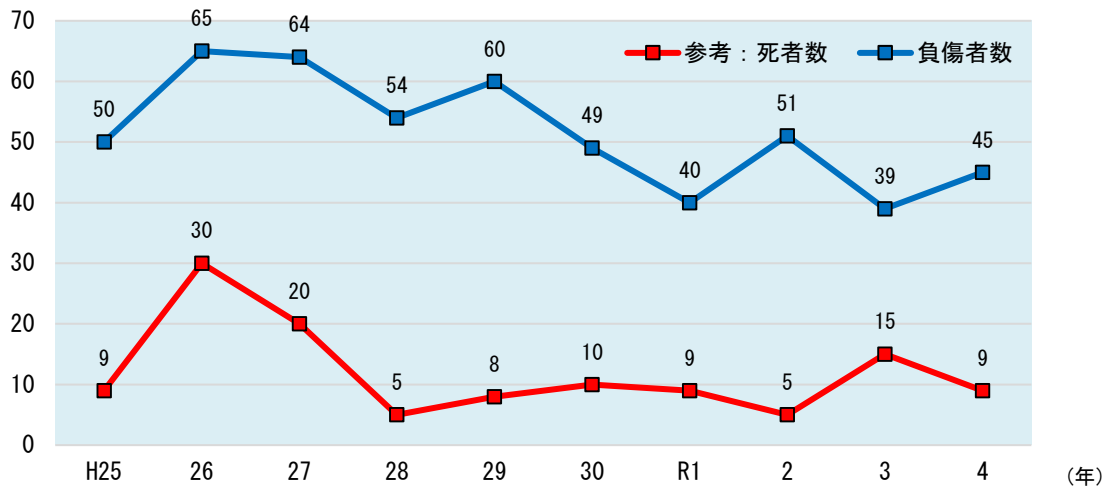
第4-1表 火災による負傷者発生状況

(人)

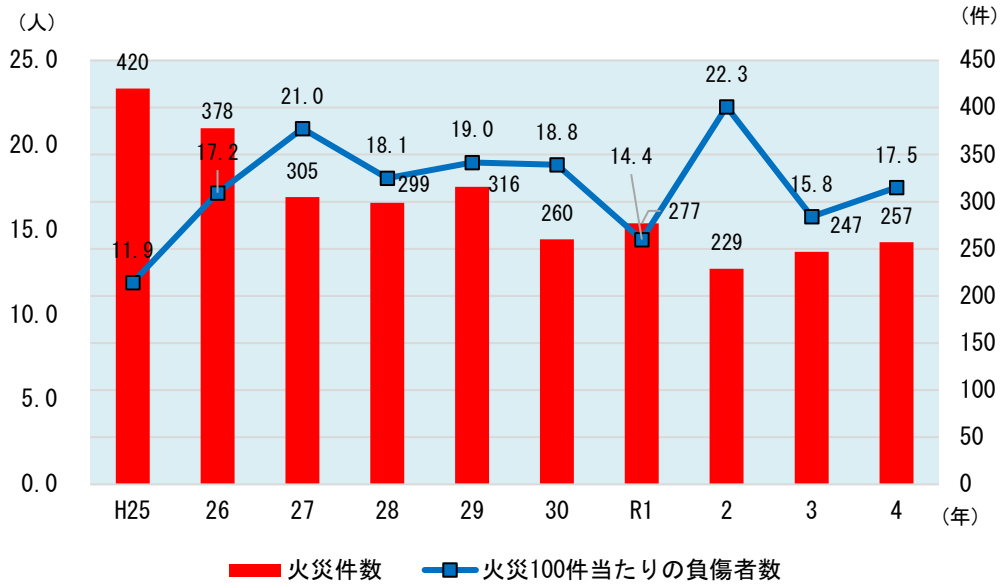
区分	65歳未満		65歳以上		総計		増減数
	令和4年	令和3年	令和4年	令和3年	令和4年	令和3年	
建物火災	27	18	15	19	42	37	5
車両火災	1	0	0	0	1	0	1
その他の火災	1	1	1	1	2	2	0
総計	29	19	16	20	45	39	6

第4-1図 火災による負傷者数の推移

(人)



第4-2図 火災100件当たりの負傷者数の推移



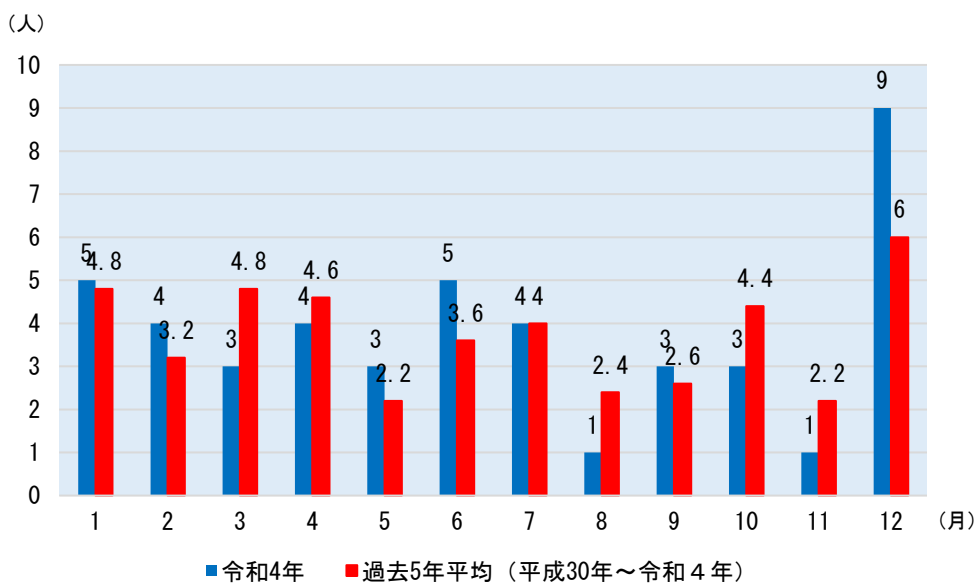
(備考) 「火災100件当たりの負傷者数」は左軸を、「火災件数」は右軸を参照。

(2) 月別発生状況

令和4年中の火災による負傷者(45人)を月別にみると、「12月」が9人と最も多く、次いで、「1月」、「6月」がそれぞれ5人となっている。

また、過去5年間平均の負傷者発生状況を見ると、各季節に偏りがなく、顕著な傾向は認められない(第4-3図)。

第4-3図 過去5年間の火災による月別負傷者数(平成30年~令和4年)



### (3) 負傷原因別発生状況

令和4年中の火災による負傷者(45人)を負傷原因別にみると、「火傷・熱傷」が30人で最も多く、次いで、「気道炎」が8人となっている。

また、行動別にみると、「消火中」が20人で最も多く、次いで、「避難中」が9人となっている(第4-2表)。

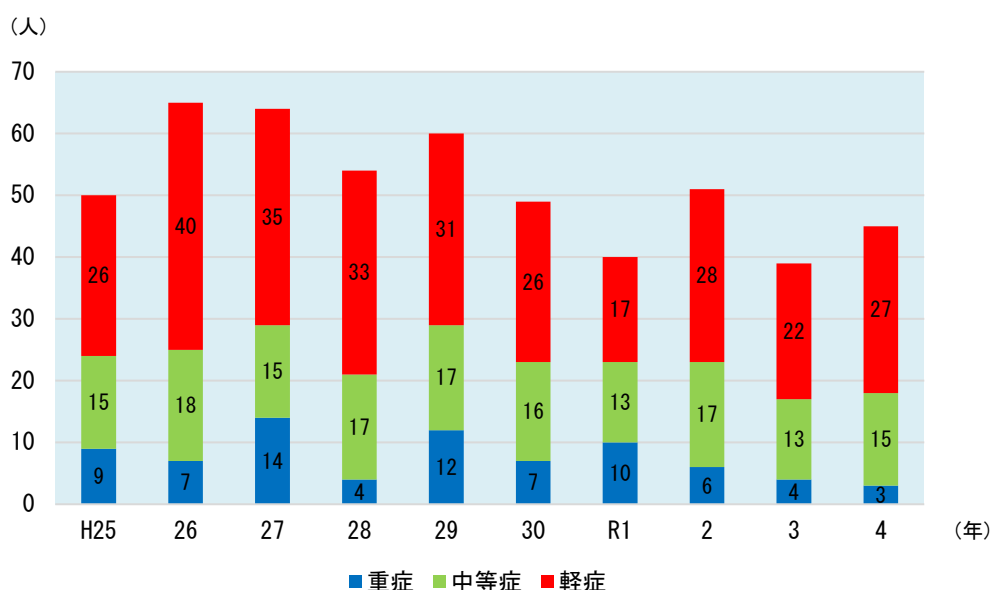
第4-2表 令和4年負傷原因別・行動別負傷者発生状況 (人)

行動区分 負傷原因	消火中	避難中	作業中	炊事中	その他	総計
火傷・熱傷	14	3	4	3	6	30
気道炎	4	4	0	0	0	8
CO中毒	2	0	0	0	0	2
眼炎	0	0	1	0	0	1
骨折	0	1	0	0	0	1
擦過傷	0	1	0	0	0	1
捻挫	0	0	0	0	1	1
その他	0	0	0	0	1	1
総計	20	9	5	3	8	45

### (4) 負傷程度別負傷者発生状況

過去10年間の負傷者(517人)を負傷程度別にみると、「軽症」が最も多く、55.1%を占めている。「重症」の割合は、令和元年が最も高く、4人に1人(25%)が重症となっている(第4-4図)。

第4-4図 負傷程度別負傷者発生状況



(備考) 注1 「重症」とは、3週間以上の入院加療を必要とするものをいう。

注2 「中等症」とは、重症又は軽症以外のものをいう。

注3 「軽症」とは、入院加療を必要としないものをいう。

## 5 出火原因

### (1) 出火原因別発生状況

令和4年中の火災（257件）を出火原因別にみると、「たばこ」による火災が39件、次いで、「こんろ」による火災が31件、「放火（疑いを含む）」による火災が19件、「電気機器」及び「配線器具」による火災がそれぞれ13件となっている（第5-1表）。

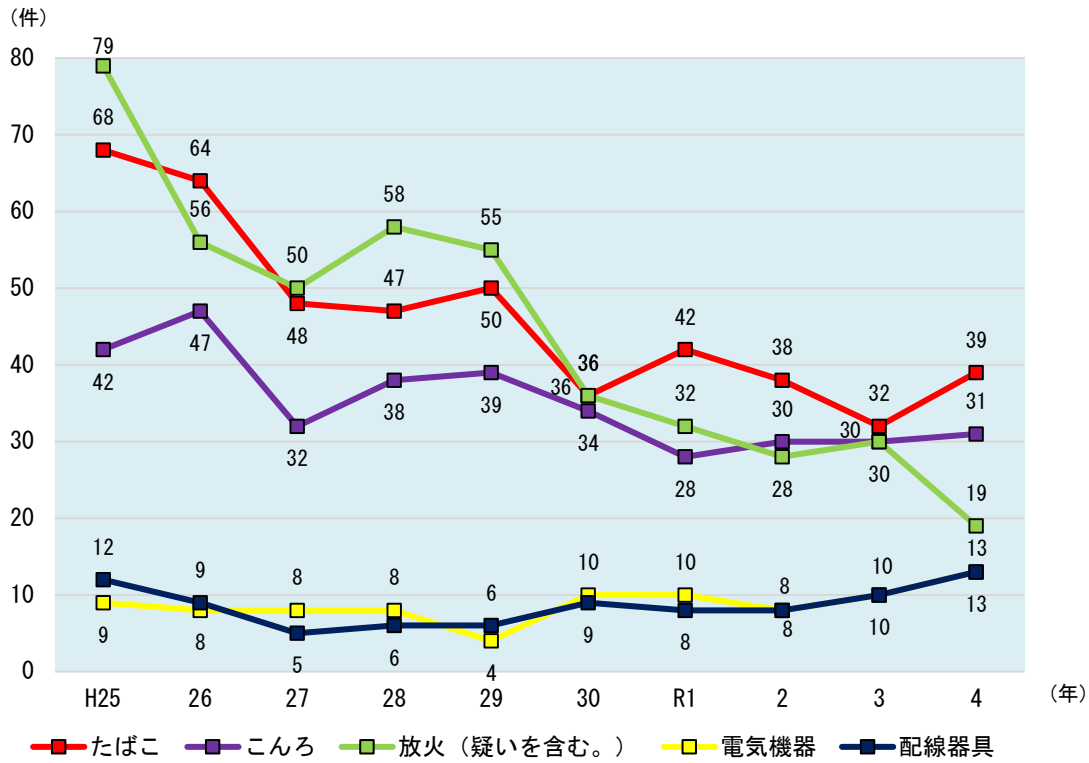
また、過去10年間の火災件数の推移をみると、「放火（疑いを含む）」及び「たばこ」が顕著な減少傾向である一方、「こんろ」、「電気機器」及び「配線器具」はほぼ横ばいとなっている（第5-1図）。

月別火災件数をみると、「放火（疑いを含む）」は夏季（6月～8月）に少なく、季節差が生じているのに対し、「電気機器」及び「配線器具」は季節に偏りが無い（第5-2図）。

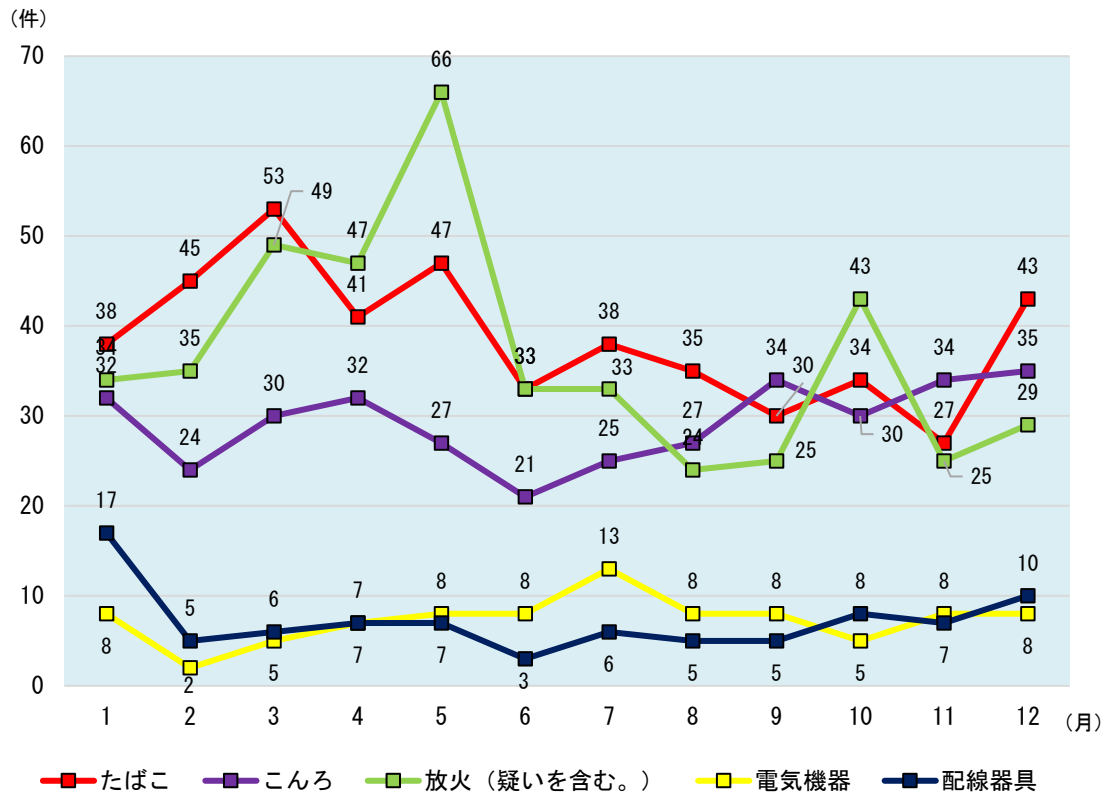
第5-1表 令和4年出火原因別の火災件数

	件数（件）	構成比（％）	前年比（件）	増減率（％）
たばこ	39	15.2%	7	22
こんろ	31	12.1%	1	3
放火（疑いを含む。）	19	7.4%	▲11	▲37
電気機器	13	5.1%	3	30
配線器具	13	5.1%	3	30
たき火	11	4.3%	▲9	▲45
ストーブ	10	3.9%	1	11
電灯・電話等の配線	9	3.5%	0	0
排気管	6	2.3%	▲4	▲40
火あそび	5	1.9%	▲5	▲50
灯火	5	1.9%	0	0
溶接機・切断機	5	1.9%	4	400
マッチ・ライター	4	1.6%	4	100
火入れ	3	1.2%	1	50
取灰	2	0.8%	0	0
内燃機関	2	0.8%	2	100
焼却炉	2	0.8%	▲1	▲33
衝突の火花	1	0.4%	1	100
電気装置	1	0.4%	▲1	▲50
炉	1	0.4%	0	0
こたつ	0	0.0%	▲1	▲100
その他	52	20.2%	15	41
不明・調査中	23	8.9%	0	0
総計	257	100%	10	4

第5-1図 出火原因（上位5位）の火災件数の推移



第5-2図 出火原因（上位5位）の月別火災発生件数（平成25年～令和4年）

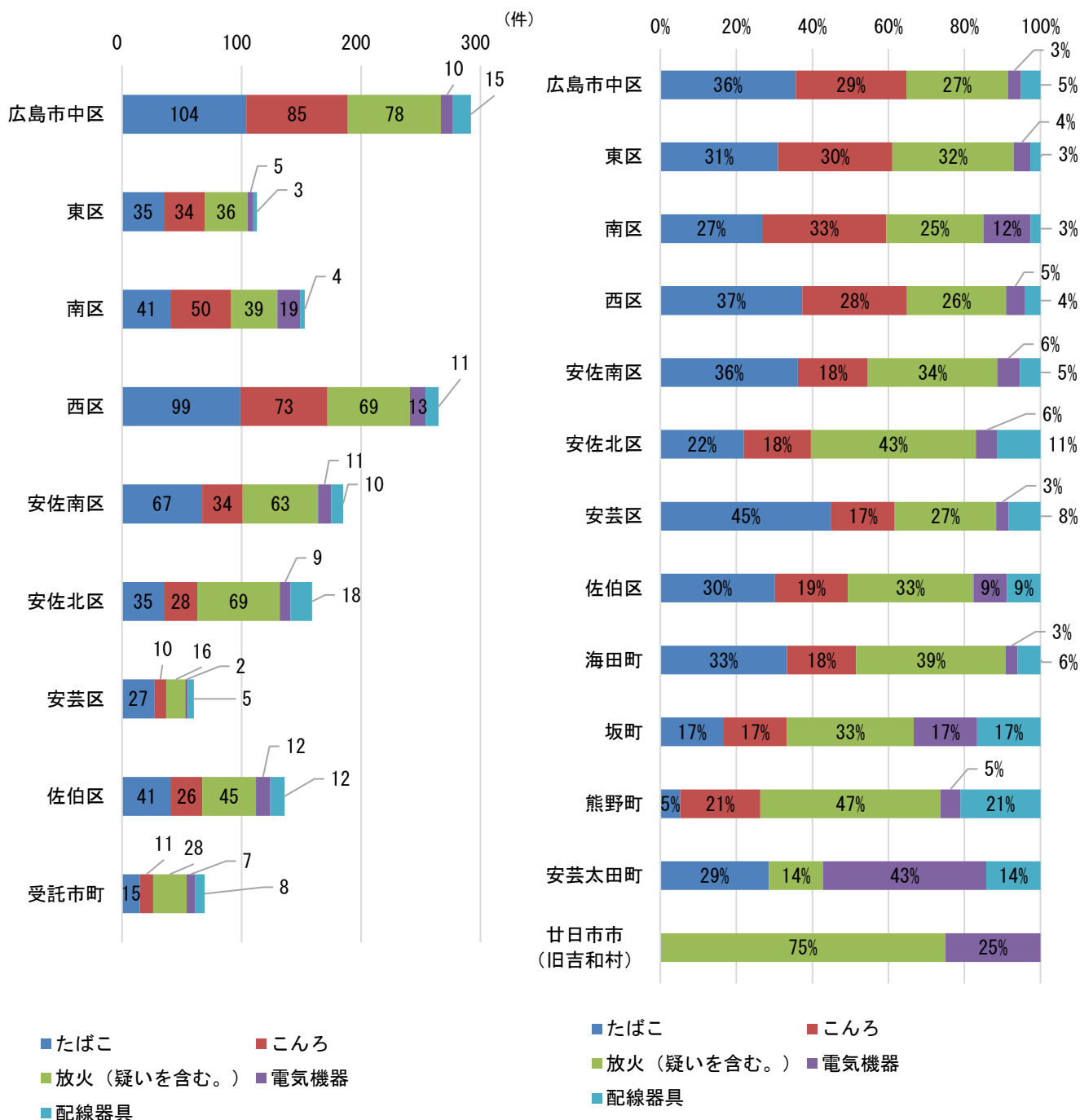




## (2) 行政区・受託市町別出火原因件数

過去10年間の行政区・受託市町別出火原因をみると、多くの地域で「たばこ」の割合は30%前後、「電気機器」及び「配線器具」は3%~6%となっている。一方で、「放火（疑いを含む）」の割合は、地域によって大きく差が生じている。（第5-3図）。

第5-3図 行政区・受託市町別出火原因件数及び割合（平成25年~令和4年）

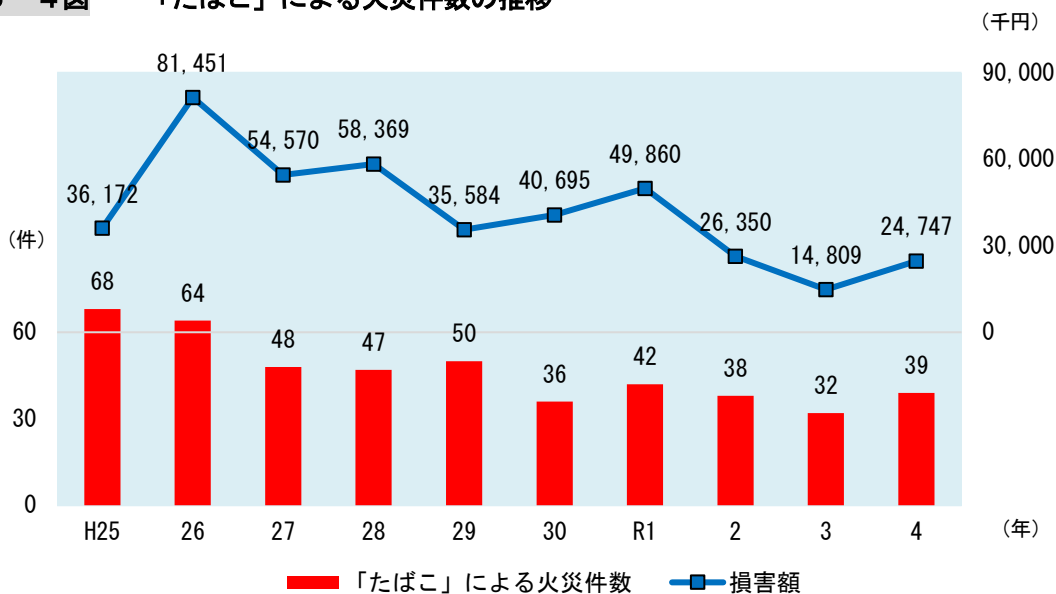


※出火原因別件数の割合合計が、四捨五入により100%にならない場合がある。

### (3) 「たばこ」による火災の推移と傾向

令和4年中の「たばこ」による火災は39件で、全火災（257件）の15.2%を占めている。  
過去10年間の火災件数を見ると、68件であった平成25年以降おおむね減少傾向となっており、  
損害額は平成26年が8,145万1千円と最も高く、それ以降は緩やかな減少傾向となっている（第5-4図）。  
令和4年中の「たばこ」による火災の経過別火災件数を見ると、火種の残った吸い殻をごみ箱や  
ビニール袋に捨てる等の「不適當なところに捨てる」が28件（71.8%）と7割以上を占めている  
（第5-2表）。

第5-4図 「たばこ」による火災件数の推移



(備考) 「火災件数」は左軸を、「損害額」は右軸を参照。

第5-2表 「たばこ」による火災の経過別件数及び損害状況等

区分	たばこ		
	令和4年	令和3年	増減数
火災件数 (件)	39	32	7
建物火災	24	18	6
林野火災	0	2	▲2
その他の火災	15	12	3
経過別火災件数 (件)			
不適當なところに捨てる	28	23	5
火源が転倒落下する	8	5	3
不適當なところに置く	1	2	▲1
火源が動いて接触する	0	1	▲1
残り火の処置が不十分	1	1	0
忘れる	1	0	1
建物焼損床面積 (㎡)	351	223	128
建物焼損表面積 (㎡)	32	11	21
損害額 (千円)	24,747	14,809	9,938

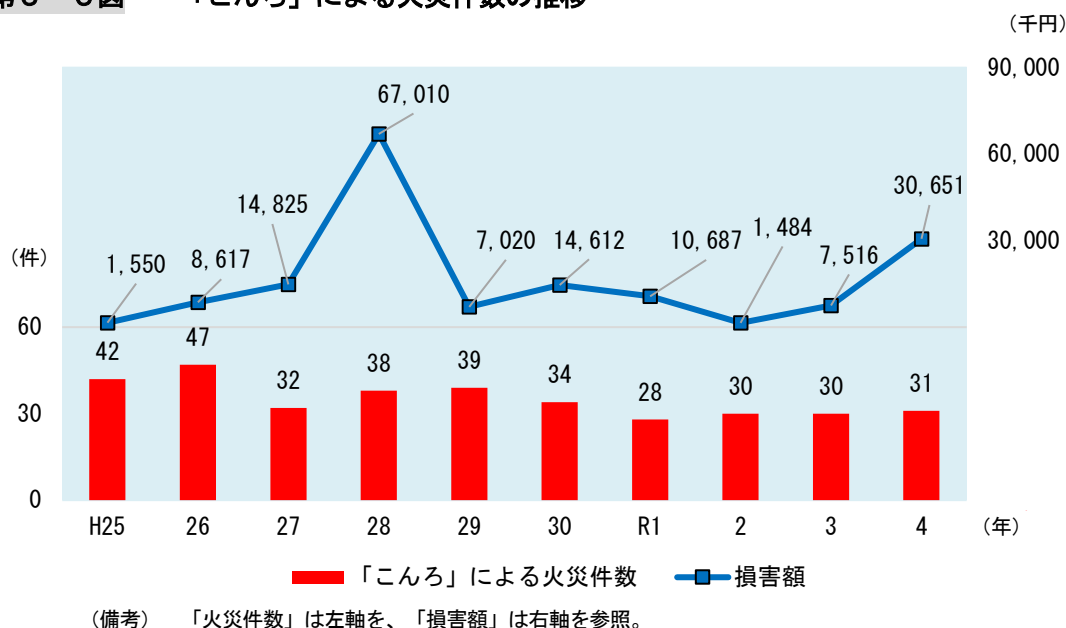
#### (4) 「こんろ」による火災の推移と傾向

令和4年中の「こんろ」による火災は31件で、全火災（257件）の12.1%を占めている。

過去10年間の火災件数をみると、47件であった平成26年から減少しているものの、平成27年以降は30件前後でほぼ横ばい状態となっている。損害額は平成28年が6,701万円と最も高く、令和2年が148万4千円と最も低くなっているが、令和4年に3,065万1千円と増加している（第5-5図）。

令和4年中の「こんろ」による火災の経過別火災件数をみると、「放置する」が9件と約3割を占めており、次いで、「忘れる」が6件となっている（第5-3表）。

第5-5図 「こんろ」による火災件数の推移



第5-3表 「こんろ」による火災の経過別件数及び損害状況等

区分	こんろ		
	令和4年	令和3年	増減数
火災件数 (件)	31	30	1
建物火災	31	30	1
経過別火災件数 (件)			
放置する	9	15	▲6
忘れる	6	4	2
考え違いにより使用を誤る	4	2	2
引火する	3	3	0
可燃物が動いて火源に触れる	3	1	2
接炎する	3	1	2
過熱する (煮すぎ)	1	1	0
その他	2	3	▲1
建物焼損床面積 (㎡)	165	139	26
建物焼損表面積 (㎡)	114	33	81
損害額 (千円)	30,651	7,516	23,135

(5) 「放火（疑いを含む）」による火災の推移と傾向

令和4年中の「放火（疑いを含む）」による火災は19件で、全火災（257件）の7.4%を占めている。火災種別をみると、「その他の火災」が前年に比べ4件増加する一方、「建物火災」は12件減少している（第5-4表）。

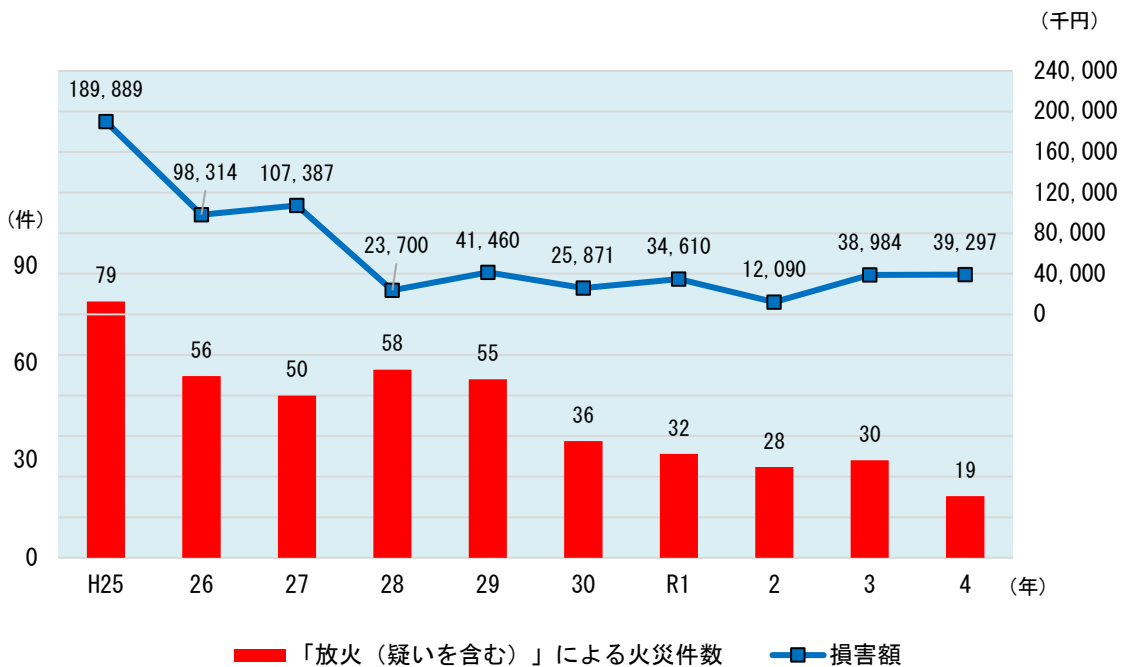
過去10年間の火災件数をみると、79件であった平成25年以降おおむね減少傾向となっており、損害額についても平成25年以降おおむね減少傾向となっている（第5-6図）。

過去5年間の件数を行政区別にみると、「中区」及び「安佐北区」が22件で最も多く、次いで、「西区」が20件となっている。（第5-5表）。

第5-4表 「放火（疑いを含む）」による火災の損害状況等

区分	放火（疑いを含む）		
	令和4年	令和3年	増減数
火災件数（件）	19	30	▲11
建物火災	8	20	▲12
車両火災	1	4	▲3
その他の火災	10	6	4
建物焼損床面積（㎡）	521	345	176
建物焼損表面積（㎡）	99	147	▲48
損害額（千円）	39,297	38,984	313

第5-6図 「放火（疑いを含む）」による火災件数の推移



(備考) 「火災件数」は左軸を、「損害額」は右軸を参照。

第5-5表 「放火（疑いを含む）」による火災の行政区別発生件数

(件)

区分		平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	令和4年	過去5年間計	年平均
広島市	中区	3	9	5	2	3	22	4.4
	東区	6	2	1	3	1	13	2.6
	南区	3	5	5	5	0	18	3.6
	西区	4	5	4	2	5	20	4
	安佐南区	3	5	2	4	3	17	3.4
	安佐北区	11	2	4	3	2	22	4.4
	安芸区	1	1	2	3	1	8	1.6
	佐伯区	4	0	3	4	3	14	2.8
広島市 計		35	29	26	26	18	134	26.8
受託市町	海田町	1	2	1	4	1	9	1.8
	坂町	0	0	0	0	0	0	0
	熊野町	0	0	1	0	0	1	0.2
	安芸太田町	0	1	0	0	0	1	0.2
	廿日市市吉和	0	0	0	0	0	0	0
受託市町 計		1	3	2	4	1	11	2.2
総計		36	32	28	30	19	145	29

### (6) 「電気機器」による火災の推移と傾向

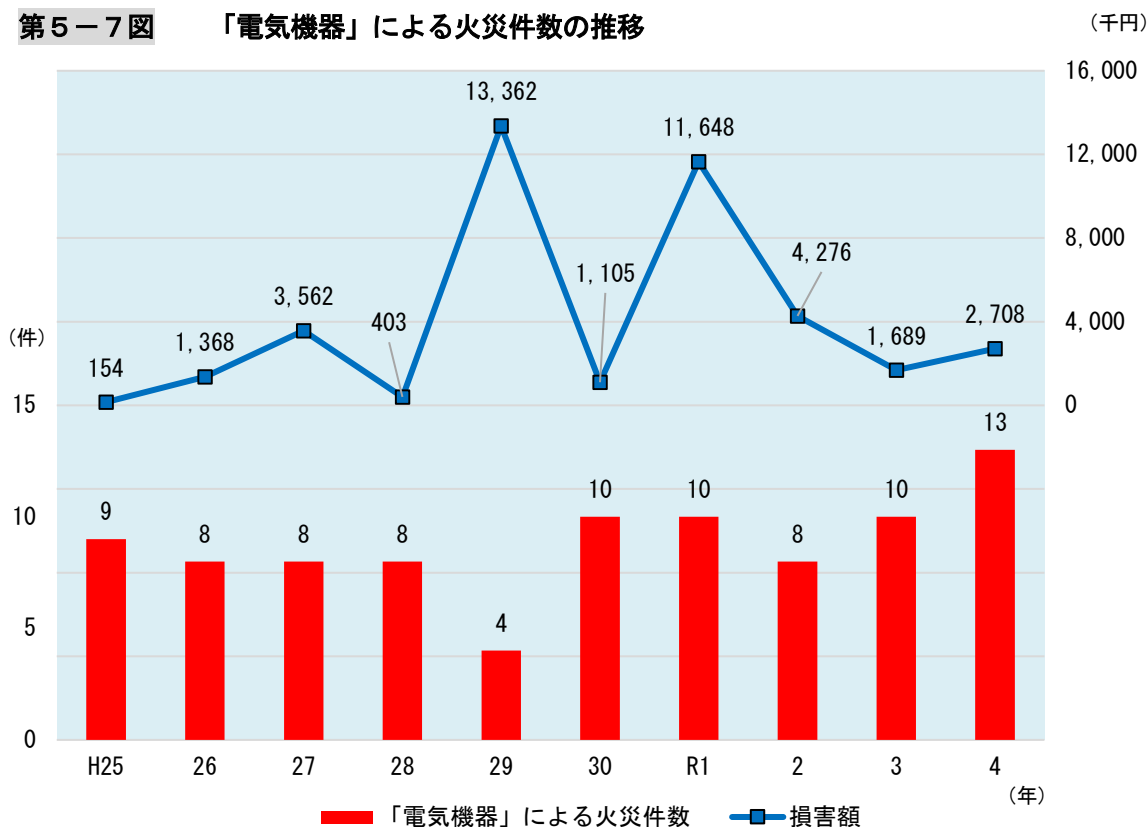
令和4年中の「電気機器」による火災は13件で、全火災（257件）の5.1%を占めている。

過去10年間の火災件数をみると、平成29年を除き、10件前後で推移しており、令和4年には13件となっているものの、発生件数に顕著な変化は生じていない。

損害状況については、平成29年と令和元年に相対的に高くなっているものの、火災件数との明確な相関は認められない（第5-7図）。

火災種別ごとの内訳では、令和3年と比べ令和4年では建物火災の件数が増加している（第5-6表）。

第5-7図 「電気機器」による火災件数の推移



(備考) 「火災件数」は左軸を、「損害額」は右軸を参照。

第5-6表 「電気機器」による火災の損害状況等

区分	電気機器		
	令和4年	令和3年	増減数
火災件数 (件)	13	10	3
建物火災	9	3	6
車両火災	2	5	▲3
船舶火災	0	1	▲1
その他の火災	2	1	1
建物焼損床面積 (㎡)	15	6	9
建物焼損表面積 (㎡)	4	0	4
損害額 (千円)	2,708	1,689	1,019

(7) 「配線器具」による火災の推移と傾向

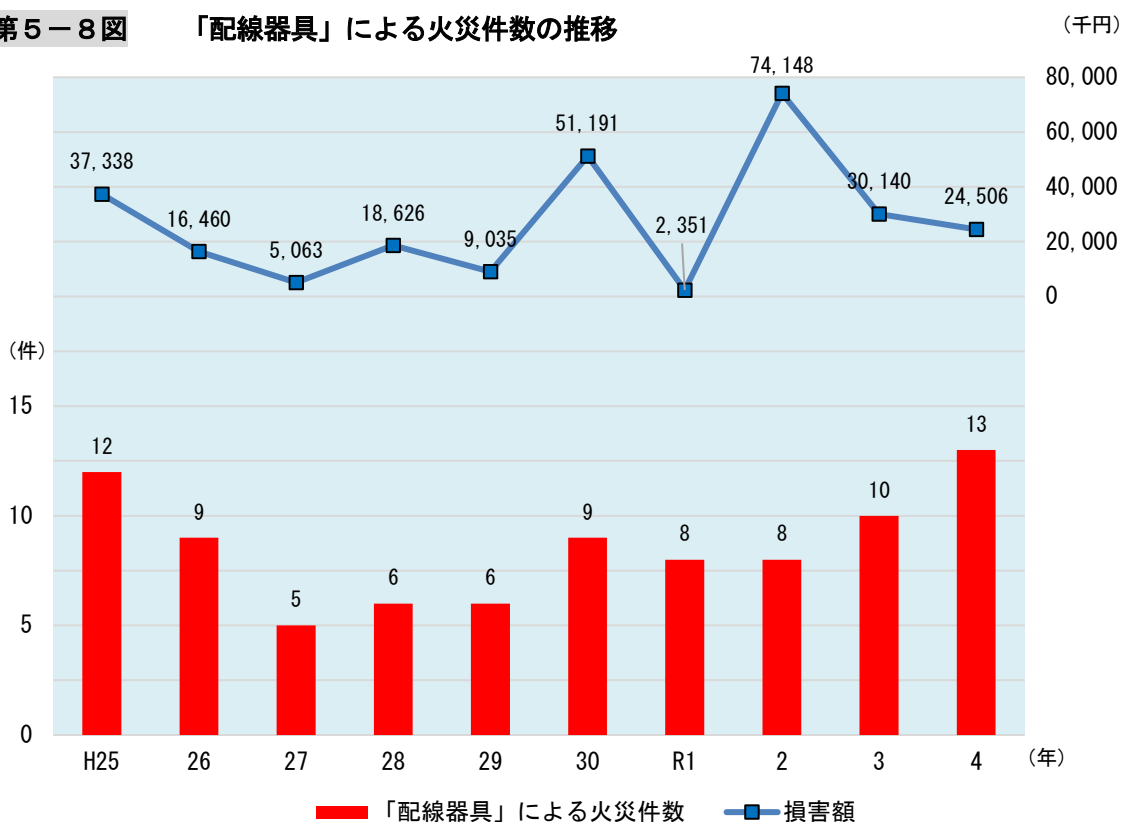
令和4年中の「配線器具」による火災は13件で、全火災（257件）の5.1%を占めている。

過去10年間の火災件数をみると、平成25年の12件から平成29年まで減少傾向にあったものの、平成30年以降、徐々に件数が増加し、令和4年には13件となっている。

損害状況については、平成30年と令和2年に相対的に高くなっているものの、火災件数との明確な相関は認められない。（第5-8図）

火災種別ごとの内訳では、令和3年と比べ令和4年の建物火災の件数が増加している（第5-7表）。

第5-8図 「配線器具」による火災件数の推移



(備考) 「火災件数」は左軸を、「損害額」は右軸を参照。

第5-7表 「配線器具」による火災の損害状況等

区分	配線器具		
	令和4年	令和3年	増減数
火災件数 (件)	13	10	3
建物火災	11	9	2
船舶火災	1	0	1
その他の火災	1	1	0
建物焼損床面積 (㎡)	291	167	124
建物焼損表面積 (㎡)	23	88	▲65
損害額 (千円)	24,506	30,140	▲5,634

## 6 建物火災の主な出火原因

### (1) 建物火災の主な出火原因

令和4年中の建物火災（160件）を出火原因別にみると、「こんろ」が31件で最も多く、次いで、「たばこ」が24件、「配線器具」が11件となっている（第6-1表）。

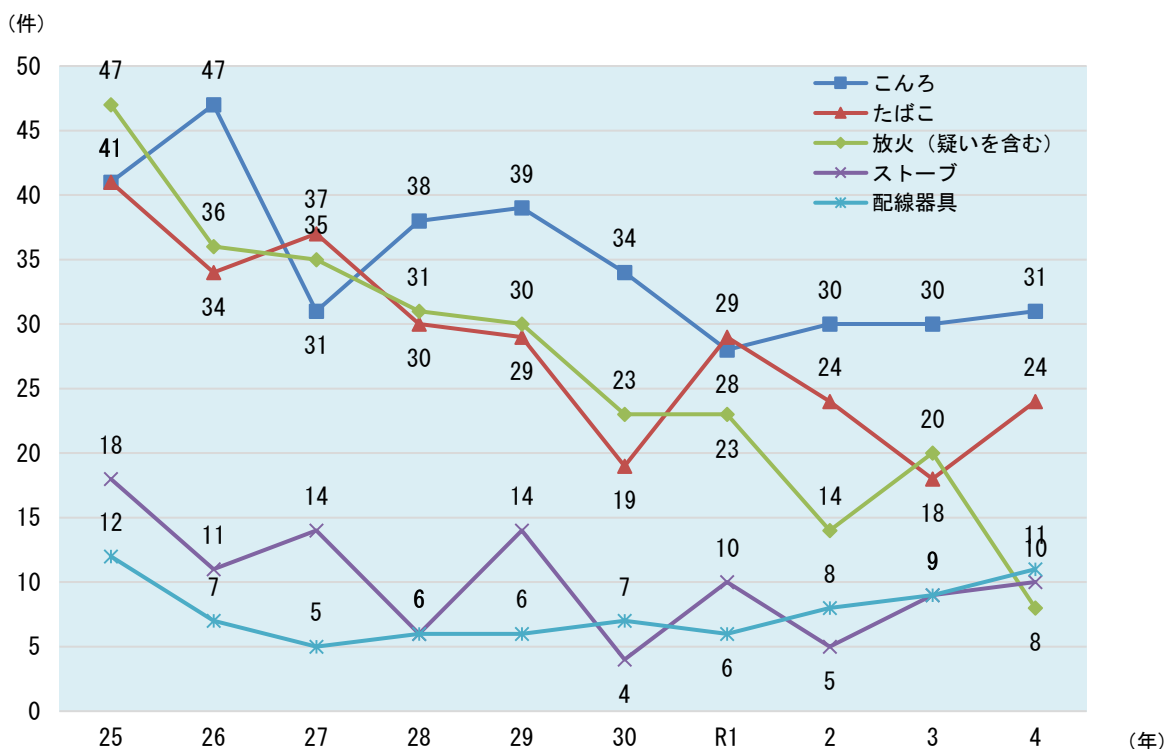
過去10年間の建物火災における主な出火原因の推移をみると、「こんろ」、「たばこ」、「放火（疑いを含む）」及び「ストーブ」が減少傾向にある一方、「配線器具」はほぼ横ばいとなっている（第6-1図）。

第6-1表 建物火災の主な出火原因

区分	令和4年		令和3年		増減数（件）
	件数（件）	構成比（%）	件数（件）	構成比（%）	
こんろ	31	19.4	30	19.5	1
たばこ	24	15.0	18	11.7	6
配線器具	11	6.9	9	5.8	2
ストーブ	10	6.3	9	5.8	1
電気機器	9	5.6	3	1.9	6
放火（疑いを含む）	8	5.0	20	13.0	▲12
上記以外	67	41.9	65	42.2	2
総計	160	100.0	154	100.0	6

（備考） 構成比総計欄の値が四捨五入により各値の合計と一致しない場合がある。

第6-1図 建物火災における主な出火原因の推移





## (2) 「こんろ」による火災の発生状況

建物火災のうち、「こんろ」による火災（31件）を熱源及び器具別で見ると、ガス器具による火災が28件で最も多く、約9割を占めている（第6-2表）。

着火物別にみると、「てんぷら油」が13件で、約4割を占めている（第6-3表）。

初期消火実施状況をみると、初期消火を実施したものは29件で、そのうち、初期消火に成功したものが28件となっている（第6-2図）。

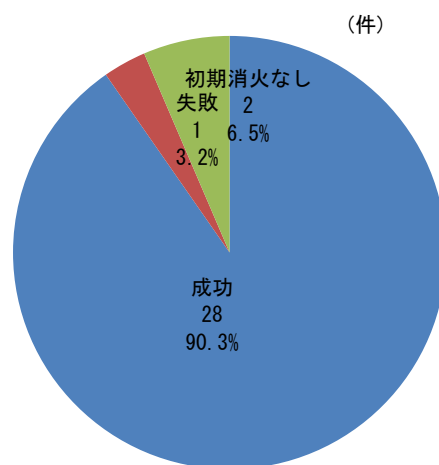
第6-2表 「こんろ」による火災の器具別火災件数 (件)

区分		令和4年	令和3年	増減	
熱源別	器具別				
電気	電磁調理器（IH調理器）	1	2	▲1	
	電気クッキングヒーター	0	1	▲1	
	電気こんろ	1	1	0	
	電気 計	2	4	▲2	
ガス	都市ガス	ガスこんろ・テーブル	13	20	▲7
		大型こんろ	4	0	4
		都市ガス 計	17	20	▲3
	液化石油ガス（LPG）	ガスこんろ・テーブル	8	4	4
		簡易型ガスこんろ（カセット型）	2	1	1
		大型こんろ	1	0	1
		液化石油ガス 計	11	5	6
ガス器具 合計		28	25	3	
その他	七輪こんろ	1	1	0	
	その他 計	1	1	0	
総計		31	30	1	

第6-3表 「こんろ」による火災の着火物別件数

着火物	令和4年	令和3年
てんぷら油	13	13
衣類	3	2
合成樹脂類	3	1
LPG	3	2
動植物油	2	4
油かす	2	1
その他	5	7
総計	31	30

第6-2図 「こんろ」による火災の初期消火実施状況（令和4年）



### (3) 「たばこ」による火災の発生状況

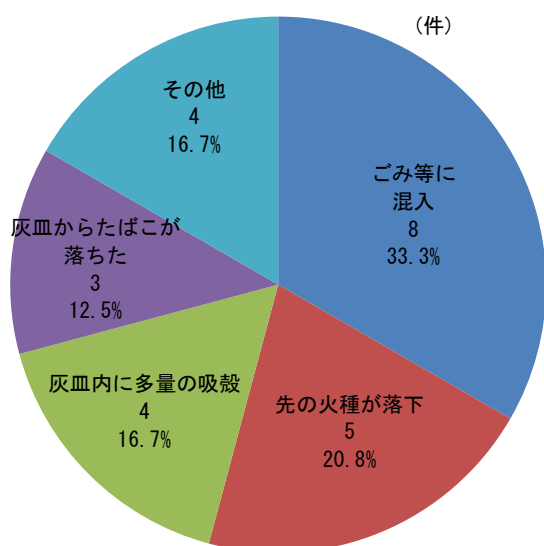
建物火災のうち、「たばこ」による火災（24件）を出火要因別にみると、「ごみ等に混入」が8件で最も多く、次いで、「先の火種が落下」が5件となっている（第6-3図）。

着火物別にみると、「ごみ類」が15件で最も多く、次いで、「寝具等」が3件となっている（第6-4図）。

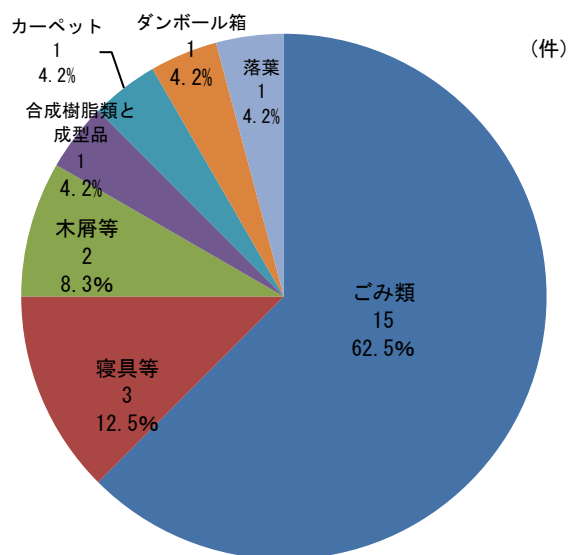
出火箇所別にみると、「住居部分」が17件で最も多く、そのうち、「居室」が9件となっている（第6-5図）。

「たばこ」による火災は、「ごみ等に混入」や「灰皿内に多量の吸殻」などの吸い殻の処理方法に起因するものが約5割を占めているため、処理方法を改善することが火災予防に直結するといえる。

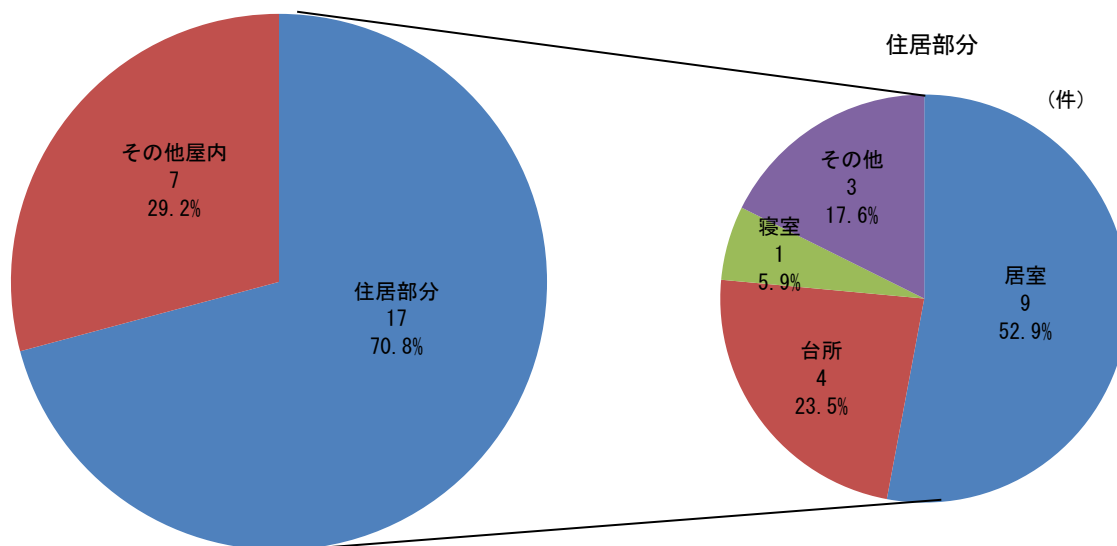
第6-3図 「たばこ」による火災の出火要因別件数（令和4年）



第6-4図 「たばこ」による火災の着火物別件数（令和4年）



第6-5図 建物火災のうち、「たばこ」による火災の出火箇所別件数（令和4年）



（備考） 「その他屋内」とは、ベランダ、バルコニー等をいう。

#### (4) 「ストーブ」による火災の発生状況

令和4年中の「ストーブ」による火災は10件で、前年に比べ1件増加している。

器具別にみると、「電気ストーブ（開放式）」によるものが6件で最も多く、次いで、「石油ストーブ（開放式）」によるものが3件となっている。（第6-4表）。

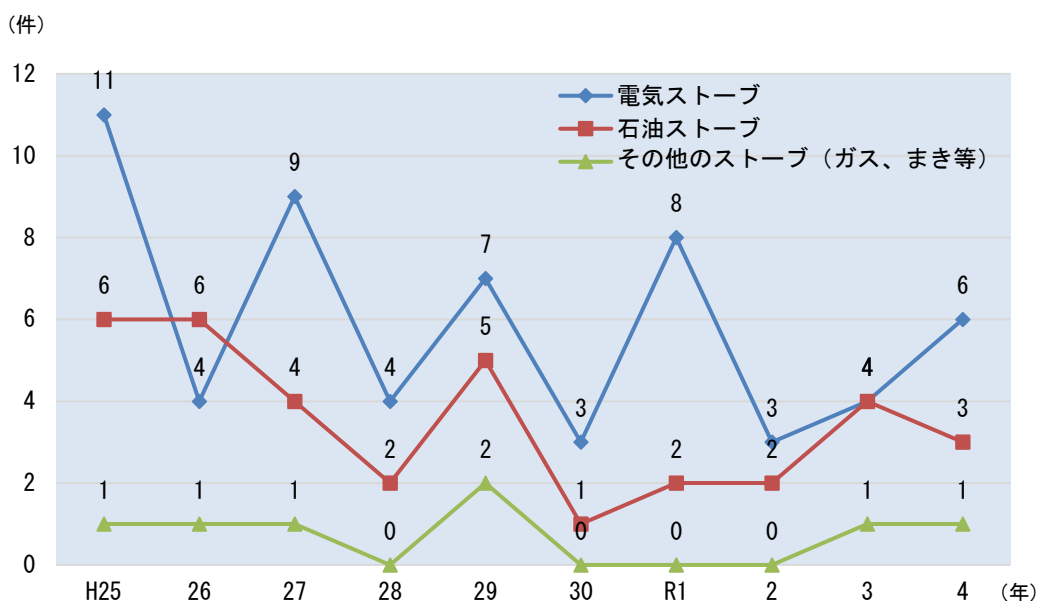
過去10年間の器具別件数の推移をみると、「電気ストーブ」は増減を繰り返しながらも緩やかな減少傾向となっており、「石油ストーブ」は増減を繰り返しながらほぼ横ばいとなっている（第6-6図）。

「ストーブ」による火災の傾向として、可燃物が何らかの形で接触することによるものが多くを占めているため、ストーブの使用環境を改めることが火災予防に効果的であるといえる。

第6-4表 「ストーブ」による火災の器具別・経過別件数 (件)

区分		令和4年	令和3年	増減
器具別	経過別			
石油ストーブ（開放式）	可燃物が火源の上に転倒落下する	2	1	1
	考え違いにより使用を誤る	1	0	1
	本来の用途以外の不適な用に用いる	0	1	▲1
	燃料を間違う	0	1	▲1
	蓋の締め付けが不完全	0	1	▲1
	石油ストーブ 計	3	4	▲1
電気ストーブ（開放式）	可燃物が動いて火源に触れる	5	4	1
	機械の調整が適当でない	1	0	1
	電気ストーブ 計	6	4	2
その他のストーブ（ガス、まき等）	容器が破損腐食する	1	0	1
	引火する	0	1	▲1
	その他のストーブ 計	1	1	0
総計		10	9	1

第6-6図 「ストーブ」による火災の器具別件数の推移（平成25年～令和4年）



(5) 「配線器具」による火災の発生状況

令和4年中の「配線器具」による火災は11件で、前年に比べ2件増加している。

発火源別でみると、「プラグ」が7件で最も多い（第6-5表）。

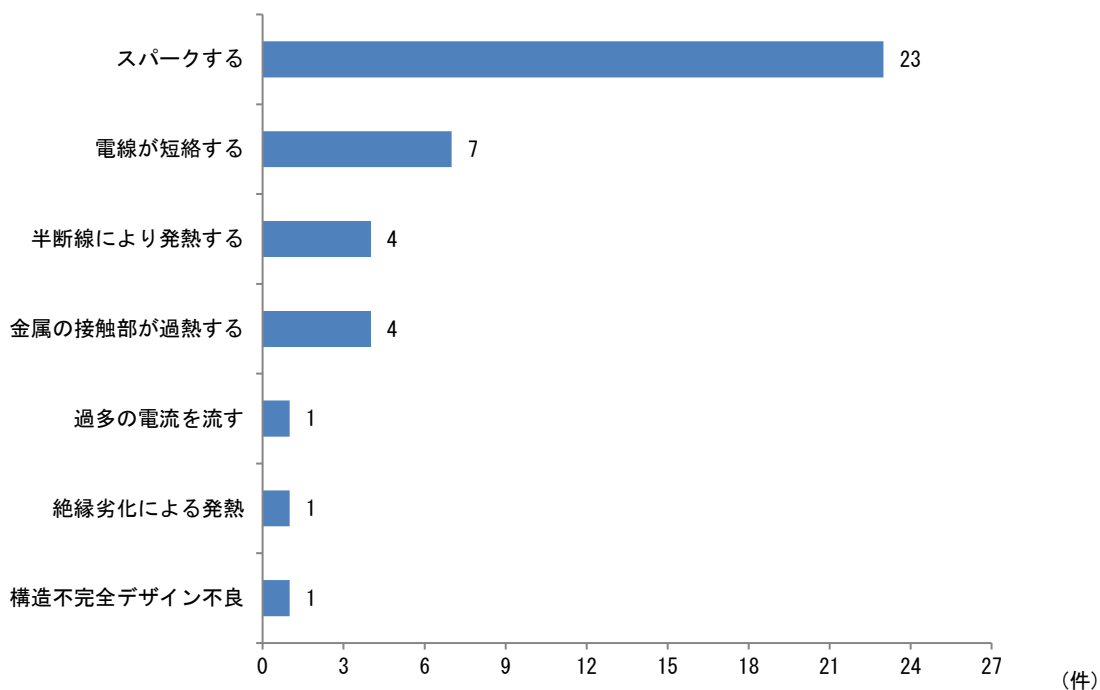
過去5年間の経過別でみると、「スパークする」が23件で最も多く、次いで、「電線が短絡する」が7件となっている（第6-7図）。

「配線器具」による火災の傾向として、「トラッキング」、「電線の短絡」、「半断線」等、コンセントから電線に至るまでの適切な管理がされていないために発生するものが多くを占めており、電源周りの定期的な手入れ等を行うことが火災予防に効果的であるといえる。

第6-5表 「配線器具」による火災の発火源別件数 (件)

区分	令和4年	令和3年	増減
プラグ	7	5	2
テーブルタップ	3	4	▲1
接続器	1	0	1
総計	11	9	2

第6-7図 過去5年間の「配線器具」による火災の経過別件数（平成30年～令和4年）



## 7 林野火災の主な出火原因

令和4年中の林野火災（4件）を出火原因別にみると、「火あそび」が2件で最も多く、次いで、「たき火」及び「焼却炉」がそれぞれ1件となっている（第7-1表）。

過去10年間の林野火災件数（58件）を行政区別にみると、「安佐北区」が12件で最も多く、次いで、「安芸区」及び「佐伯区」が11件となっている（第7-2表）。

第7-1表 林野火災の主な出火原因

区分	令和4年		令和3年		増減数 件数（件）
	件数（件）	構成比（%）	件数（件）	構成比（%）	
火あそび	2	50.0	0	0	2
たき火	1	25.0	3	50.0	▲2
焼却炉	1	25.0	1	16.7	0
たばこ	0	0	2	33.3	▲2
総計	4	100.0	6	100.0	▲2

第7-2表 過去10年間の林野火災の行政区別件数（平成25年～令和4年）

区分	行政区別	件数（件）	構成比（%）
広島市	中区	0	0.0
	東区	4	6.9
	南区	2	3.4
	西区	3	5.2
	安佐南区	9	15.5
	安佐北区	12	20.7
	安芸区	11	19.0
	佐伯区	11	19.0
	広島市 計	52	89.7
受託市町	海田町	0	0.0
	坂町	2	3.4
	熊野町	2	3.4
	安芸太田町	2	3.4
	廿日市市吉和	0	0
	受託市町 計	6	10.3
総計		58	100.0

## 8 車両火災の主な出火原因

令和4年中の車両火災（19件）を出火原因別にみると、「排気管」が4件で最も多く、21.1%を占めている。次いで、「電気機器」及び「内燃機関」がそれぞれ2件となっている（第8-1表）。

過去10年間の「排気管」に起因した火災は64件で、発生経過及び着火物別にみると、「着火物が漏洩する」が23件で最も多く、そのうち、エンジンオイル等の「第4石油類」に着火したものが18件となっている。次いで、「可燃物が動いて火源に触れる」が12件で、そのうち、ウエス等の「繊維製品」に着火したものが9件となっている。（第8-2表）。

第8-1表 車両火災の主な原因

区分	令和4年		令和3年		増減数
	件数（件）	構成比（%）	件数（件）	構成比（%）	件数（件）
排気管	4	21.1	10	37.0	▲6
電気機器	2	10.5	5	18.5	▲3
内燃機関	2	10.5	0	0.0	2
放火（疑いを含む）	1	5.3	4	14.8	▲3
衝突の火花	1	5.3	0	0.0	1
電灯・電話等の配線	1	5.3	0	0.0	1
その他	8	42.1	8	29.6	0
総計	19	100.0	27	100.0	▲8

第8-2表 「排気管」による火災の発生経過及び着火物別件数（平成25年～令和4年）

（件）

区分	着火物						
	第1石油類	第2石油類	第3石油類	第4石油類	繊維製品	その他可燃物	計
着火物が漏洩する	1	1	3	18	0	0	23
可燃物が動いて火源に触れる	0	0	0	1	9	2	12
衝突により発火（交通事故）	0	0	3	7	0	0	10
高温物が触れる	0	0	0	1	1	3	5
可燃物が火源の上に落下する	0	0	3	1	0	1	5
その他	0	1	0	1	0	7	9
計	1	2	9	29	10	13	64

## 9 その他の火災の主な出火原因

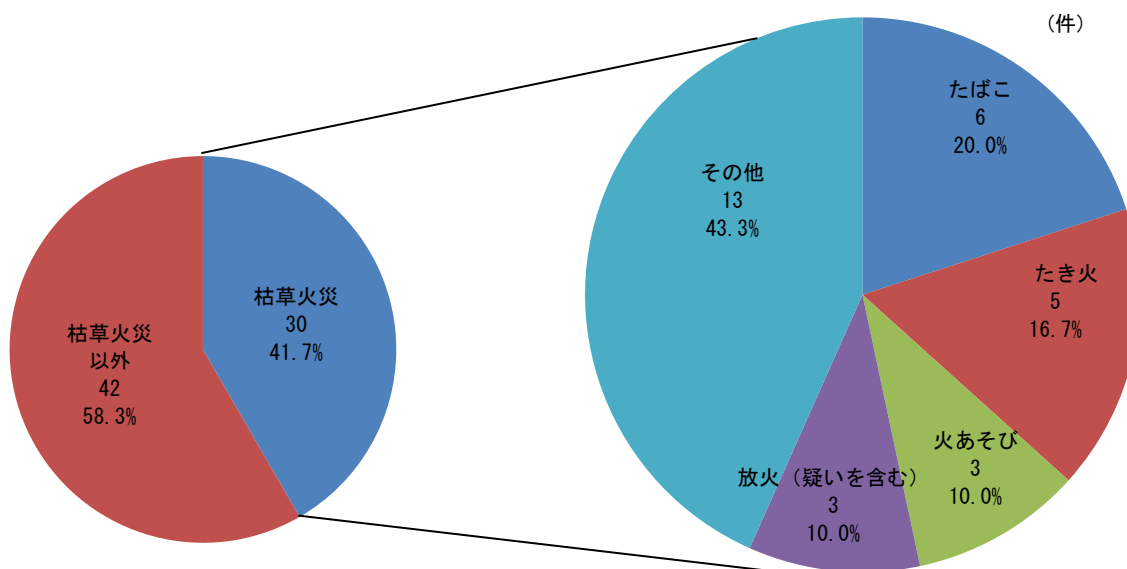
令和4年中のその他の火災（72件）を出火原因別にみると、「たばこ」が15件で最も多く、20.8%となっており、次いで、「放火（疑いを含む）」が10件となっている（第9-1表）。

その他の火災のうち、「枯草火災」は30件で、出火原因別内訳は「たばこ」が6件で最も多く、次いで、「たき火」が5件となっている（第9-1図）。

第9-1表 その他の火災の主な出火原因

区分	令和4年		令和3年		増減数
	件数（件）	構成比（%）	件数（件）	構成比（%）	件数（件）
たばこ	15	20.8	12	20.3	3
放火（疑いを含む）	10	13.9	6	10.2	4
たき火	7	9.7	15	25.4	▲8
火あそび	3	4.2	4	6.8	▲1
電灯・電話等の配線	3	4.2	1	1.7	2
その他	34	47.2	21	35.6	13
総計	72	100.0	59	100.0	13

第9-1図 その他の火災のうち、「枯草火災」の出火原因別件数（令和4年）



（備考） 「枯草火災」とは、主な焼損物件が枯草及び落葉等のものをいう。

# 10 住宅用火災警報器と住宅火災

## (1) 住宅用火災警報器の設置率と住宅火災件数の推移

過去10年間の住宅用火災警報器（以下「住警器」という。）設置率は平成25年から微増傾向であり、平成30年以降は90%付近を推移しているが、令和4年は90%を下回っている。住宅火災件数はおおむね減少傾向となっている（第10-1図）。

なお、住警器設置率\*について、平成25年以前が「広島市」のデータで、平成26年以降は「広島市消防局管内（受託市町を含む）」のデータとなっている。

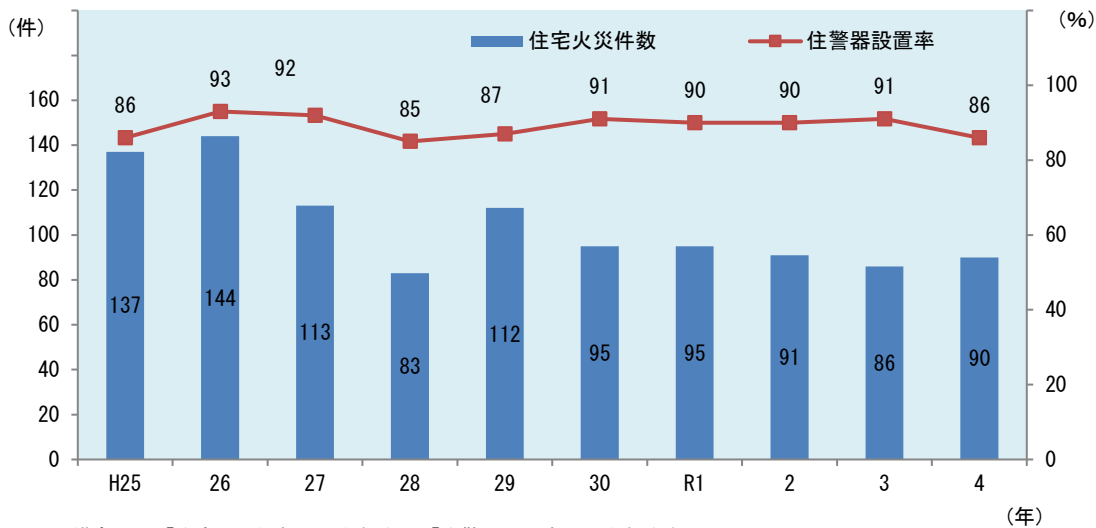
また、住宅火災1件当たりの焼損状況をみると、焼損床面積は全体的に増加傾向となっており、損害額は平成30年まで増加傾向、以降は減少傾向となっているが、令和3年のみ一部の大火災により大きく増加している。（第10-2図）。

\*住警器設置率とは、広島市消防局管内（受託市町を含む）において調査世帯のうち、住警器が設置されているもしくは一部設置されている世帯の割合を示すもの。（調査世帯は無作為抽出により決定する。）

次の計算式により算出する。【(設置世帯数+一部設置世帯数) ÷ 調査世帯数 × 100 = 住警器設置率】

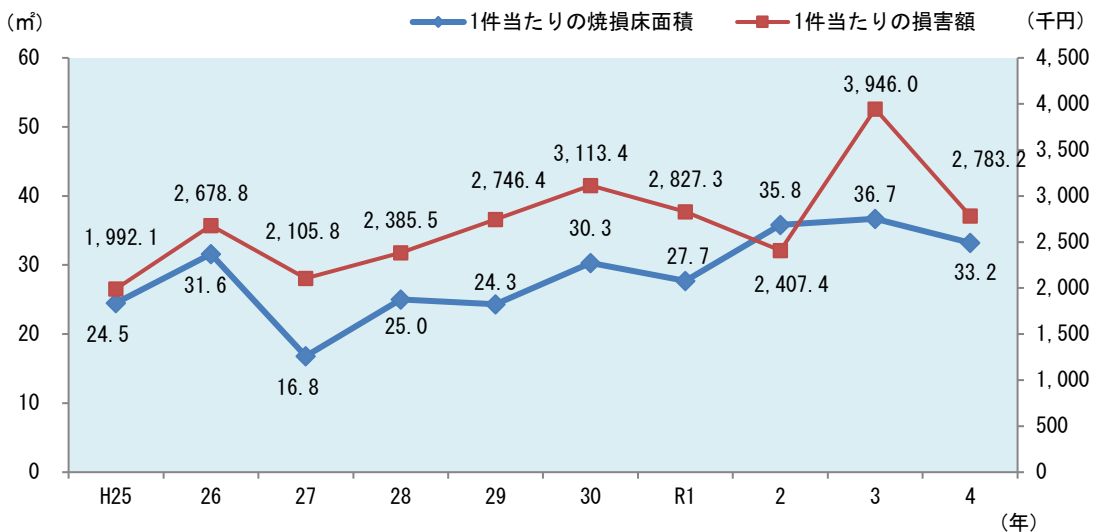
令和4年の設置率算出… (632世帯+31世帯) ÷ 768世帯 × 100 = 86% (1署96世帯ずつ調査)

第10-1図 住警器設置率と住宅火災件数の推移



(備考) 「住宅火災件数」は左軸を、「住警器設置率」は右軸を参照。

第10-2図 住宅火災1件当たりの焼損床面積及び損害額の推移



(備考) 「焼損床面積」は左軸を、「損害額」は右軸を参照。



## (2) 住警器と死傷者

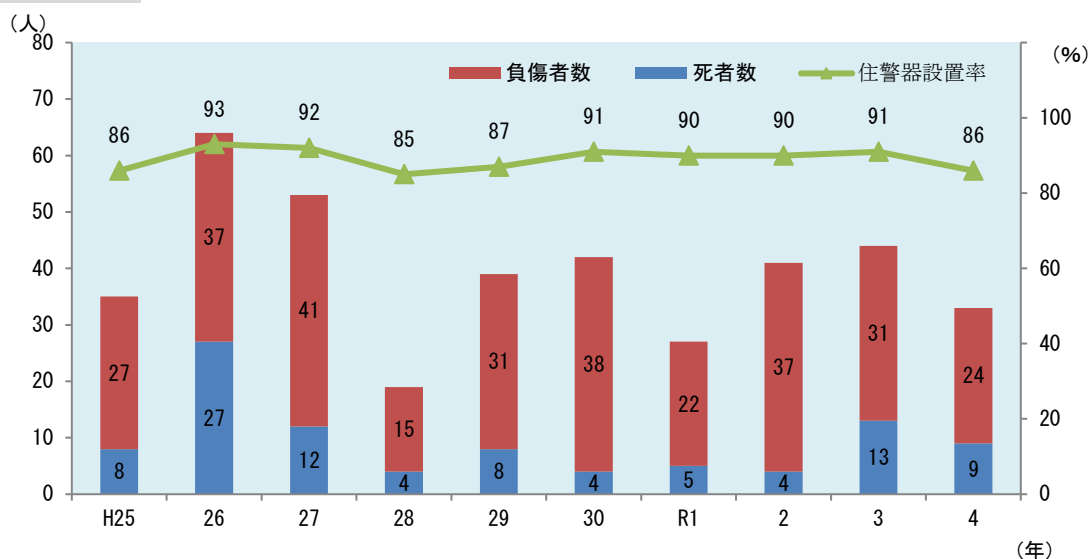
住宅火災による死傷者数はおおむね40人程度を推移しており、住警器設置率との相関性は認められない(第10-3図)。

また、住警器又は自動火災報知設備(以下「自火報」という。)設置状況別の火災100件当たりの死傷者数をみると、死者、負傷者ともに「未設置・設置不明」の方が多くなっている

(第10-4図)。

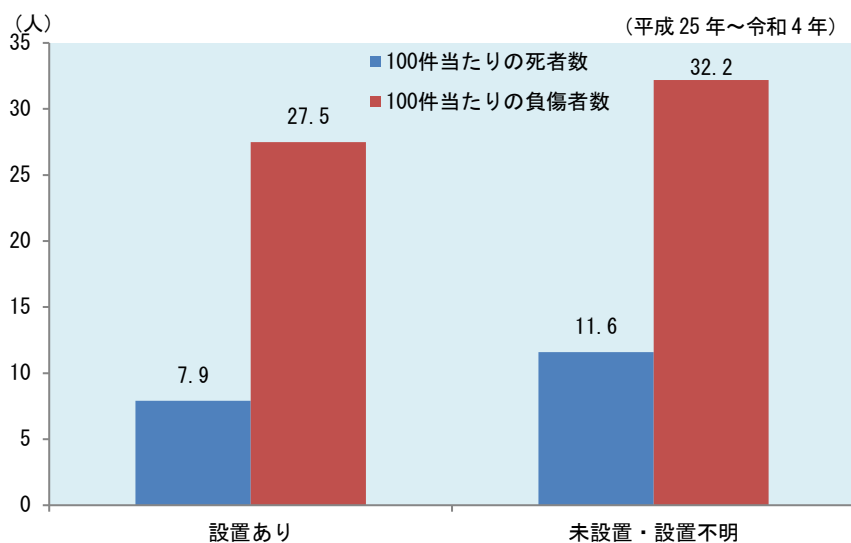
さらに、住警器又は自火報設置状況別の死者概要を見ると、住警器又は自火報の設置の有無に関わらず、65歳以上の割合はともに約7割、一人暮らしの割合はともに約4割となっており、設置の有無との相関性は認められない(第10-5図)。

第10-3図 住警器設置率と住宅火災による死傷者数の推移

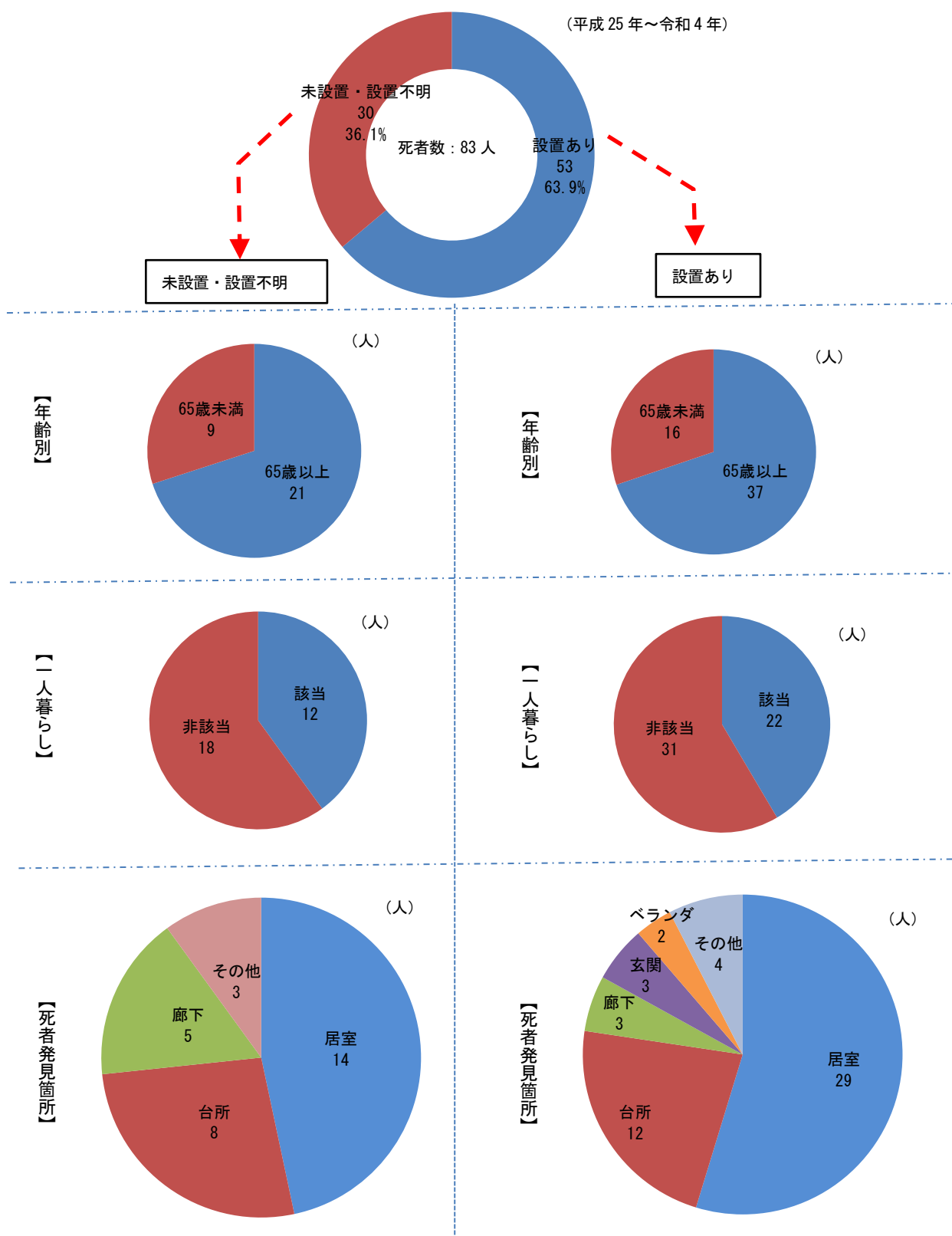


(備考) 「死者数」及び「負傷者数」は左軸を、「住警器設置率」は右軸を参照。

第10-4図 過去10年間の住警器(自火報を含む)設置状況別の住宅火災100件当たりの死傷者数



第10-5図 過去10年間の住警器（自火報を含む）設置状況別の死者（放火自殺者を除く）概要



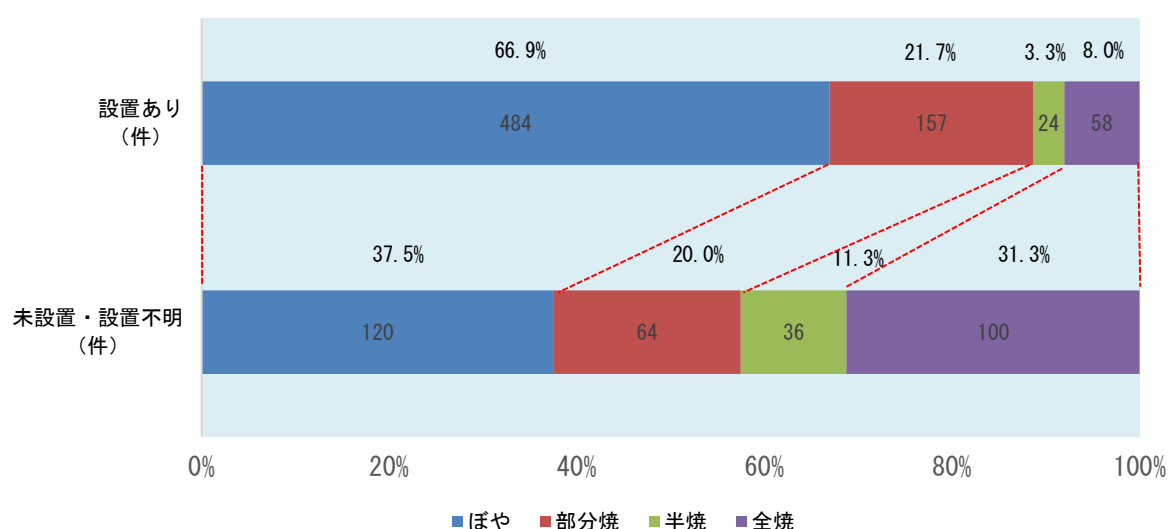
### (3) 住警器（自火報を含む）と火災概況

住警器（自火報を含む）設置状況別の焼損程度をみると、「設置あり」が、ぼやが66.9%、全焼が8.0%であるのに対し、「未設置・設置不明」は、ぼやが37.5%、全焼が31.3%となっている（第10-6図）。

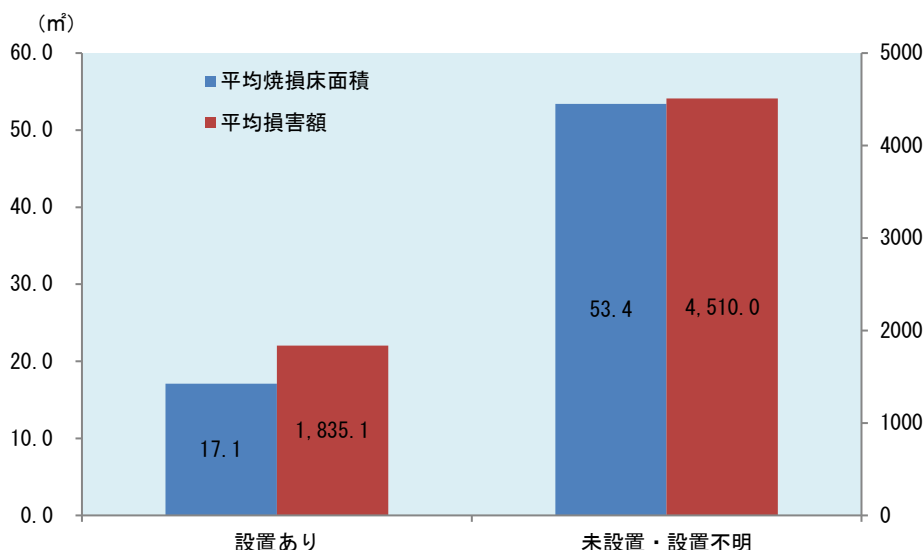
また、住宅火災1件当たりの焼損状況をみると、焼損床面積、損害額ともに「設置あり」と比較して、「未設置・設置不明」の方が大幅に高くなっている（第10-7図）。

これらの各データによって、住警器（自火報を含む）を設置することで、焼損程度・焼損床面積・損害額の全てにおいて被害が軽減されている状況が認められる。

**第10-6図 過去10年間の住宅火災における住警器（自火報を含む）設置状況別の焼損程度（平成25年～令和4年）**



**第10-7図 過去10年間の住宅火災における住警器（自火報を含む）設置状況別の平均被害状況（平成25年～令和4年）**

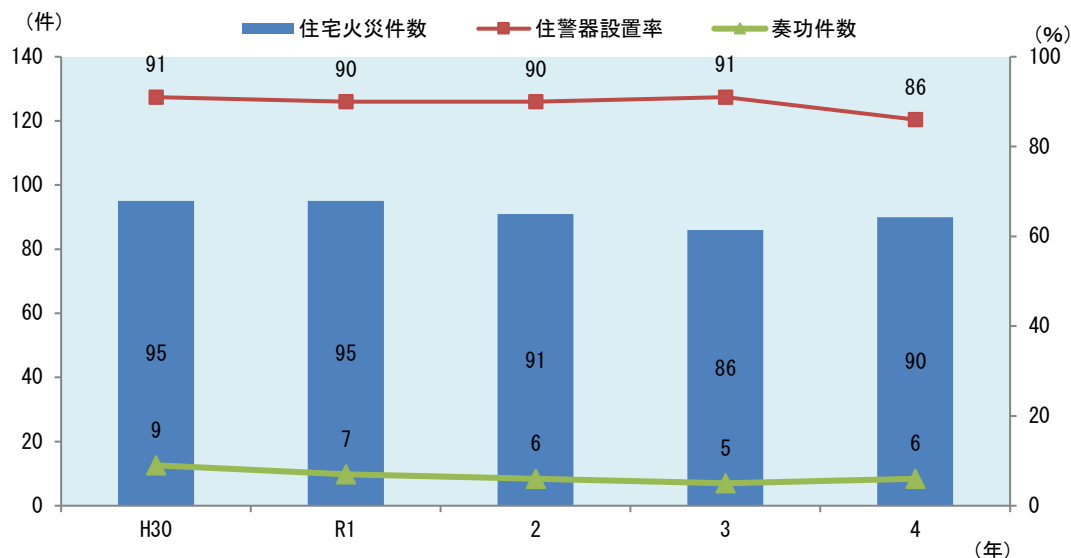


（備考） 「平均焼損床面積」は左軸を、「平均損害額」は右軸を参照。

#### (4) 住警器奏功事例

過去5年間で、住警器が奏功した事案は33件発生しており、年平均にすると、毎年約7件となっている（第10-8図）。

第10-8図 過去5年間の住警器奏功件数（平成30年～令和4年）



（備考） 「住宅火災件数」及び「住警器奏功件数」は左軸を、「住警器設置率」は右軸を参照。

##### 【事例①】

一般住宅の台所において、居住者が鍋をガスコンロの火にかけてそのまま外出したことで出火。住警器の警報音を聞き駆けつけた近隣住民が窓ガラスを割り、その窓から消火器を噴射させ消火に成功した。

##### 【事例②】

一般住宅の居室において、居住者が寝たばこをしてしまい、たばこの火種が布団上に落下し、布団から発煙。住警器の警報音で目覚めた居住者が、やかんで水をかけることで消火に成功した。

##### 【事例③】

共同住宅の一室において、電気ストーブのスイッチが誤操作により押下されたことで付近の可燃物と接触し発煙。台所で料理中だった居住者が、住警器の警報音で異変に気付き、対処したことにより火災に至らなかった。



火災の早期発見のため、住警器を設置しようや！  
ちゃんと作動するように定期点検も忘れようね！



# 1 1 別表

## 第 1 表 覚知別火災概況

区分	総計	火災報知専用電話	警察電話	加入電話	その他
出火件数 (件)	257	193	21	1	42
建物	160	118	11	-	31
林野	4	4	-	-	-
車両	19	15	3	-	1
船舶	2	1	-	-	1
航空機	-	-	-	-	-
その他	72	55	7	1	9
焼損棟数 (棟)	229	185	13	-	31
全焼	38	35	3	-	-
半焼	10	9	-	-	1
部分焼	43	37	3	-	3
ぼや	138	104	7	-	27
建物焼損床面積 (㎡)	13,319	13,047	270	-	2
表面積 (㎡)	724	674	2	-	48
林野焼損面積 (a)	10	10	-	-	-
死者 (人)	9	9	-	-	-
負傷者 (人)	45	29	6	-	10
り災世帯数 (世帯)	143	116	8	-	19
全損	25	25	-	-	-
半損	5	4	1	-	-
小損	113	87	7	-	19
り災人員 (人)	278	224	13	-	41
損害額 (千円)	5,642,980	5,614,668	21,240	-	7,072
建物	5,624,035	5,602,374	19,901	-	1,760
林野	1	1	-	-	-
車両	8,953	7,645	1,269	-	39
船舶	5,236	60	-	-	5,176
航空機	-	-	-	-	-
その他	4,753	4,588	70	-	95
爆発	2	-	-	-	2

第2表 月・日別火災件数

区分	総計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	不明
総計	257	28	21	32	23	20	22	21	10	10	31	12	27	-
1日	12	-	-	-	2	2	2	1	1	-	2	1	1	-
2日	9	-	2	1	-	1	-	1	-	-	1	-	3	-
3日	12	2	-	1	2	1	3	-	-	-	-	1	2	-
4日	6	2	-	-	-	-	1	-	-	1	1	-	1	-
5日	10	2	-	1	3	-	-	3	-	-	-	-	1	-
6日	5	-	-	-	3	-	-	1	-	-	-	-	1	-
7日	7	1	-	2	1	2	-	-	-	-	-	1	-	-
8日	11	-	-	4	-	1	-	2	-	1	3	-	-	-
9日	7	1	-	1	-	-	3	1	-	-	-	-	1	-
10日	7	-	3	-	-	-	-	1	1	-	2	-	-	-
11日	6	1	2	1	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-
12日	5	-	1	1	-	-	1	-	-	-	1	-	1	-
13日	12	-	2	1	2	-	1	1	1	-	1	1	2	-
14日	8	3	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	3	-
15日	6	-	1	1	-	-	2	-	1	1	-	-	-	-
16日	6	1	-	2	-	1	-	-	1	-	1	-	-	-
17日	3	-	-	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-
18日	5	-	-	1	-	1	1	1	-	-	-	1	-	-
19日	8	1	2	1	1	-	-	-	-	-	-	3	-	-
20日	16	5	1	2	2	-	1	1	1	-	2	1	-	-
21日	9	-	-	-	1	1	3	1	-	1	-	1	1	-
22日	6	-	1	-	-	3	-	-	-	-	2	-	-	-
23日	4	1	-	1	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-
24日	8	-	-	2	1	-	-	-	-	2	2	-	1	-
25日	15	1	1	1	2	2	1	3	1	-	1	-	2	-
26日	10	-	2	2	-	1	-	2	-	2	-	1	-	-
27日	9	1	-	1	-	1	-	1	1	-	1	-	3	-
28日	11	1	3	-	-	1	2	-	-	2	1	1	-	-
29日	10	2	-	2	-	-	-	1	2	-	1	-	2	-
30日	5	1	-	1	1	-	-	-	-	-	1	-	1	-
31日	8	2	-	1	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-
不明	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-

第3表 月・曜日別火災概況

区分	出火件数（件）							焼損棟数（棟）					焼損面積			死傷者（人）	
	計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	建物 床面積 (㎡)	建物 表面積 (㎡)	林野 面積 (a)	死者	負傷者
総計	257	160	4	19	2	-	72	229	38	10	43	138	13,319	724	10	9	45
1月	28	18	-	4	-	-	6	24	4	1	4	15	172	103	-	2	5
2月	21	14	-	2	-	-	5	18	3	1	3	11	713	7	-	1	4
3月	32	24	-	2	-	-	6	39	5	1	4	29	515	140	-	1	3
4月	23	11	1	3	-	-	8	18	4	2	3	9	574	13	2	-	4
5月	20	9	1	2	-	-	8	12	2	1	5	4	416	26	3	-	3
6月	22	13	-	1	-	-	8	25	3	-	8	14	337	109	-	1	5
7月	21	13	2	-	-	-	6	15	1	1	2	11	201	83	5	-	4
8月	10	5	-	-	1	-	4	6	1	-	-	5	52	2	-	-	1
9月	10	9	-	-	-	-	1	9	1	-	2	6	9,290	13	-	-	3
10月	31	17	-	2	1	-	11	22	6	1	3	12	391	10	-	2	3
11月	12	7	-	3	-	-	2	9	4	-	1	4	202	-	-	1	1
12月	27	20	-	-	-	-	7	32	4	2	8	18	456	218	-	1	9
不明	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
総計	257	160	4	19	2	-	72	229	38	10	43	138	13,319	724	10	9	45
日曜	33	20	-	4	-	-	9	30	8	-	6	16	1,013	165	-	1	6
月曜	39	23	-	6	1	-	9	35	9	1	6	19	609	165	-	2	4
火曜	41	29	1	3	-	-	8	36	5	-	2	29	544	34	2	1	8
水曜	39	25	-	-	-	-	14	39	4	3	12	20	550	248	-	1	9
木曜	32	24	-	2	-	-	6	32	6	4	3	19	562	57	-	1	9
金曜	29	15	1	1	-	-	12	20	1	-	9	10	135	36	4	1	2
土曜	43	24	2	3	1	-	13	37	5	2	5	25	9,906	19	4	2	7
不明	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

区分	り災世帯数（世帯）				り災人員（人）	損害額（千円）							
	計	全損	半損	小損		計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	爆発
総計	143	25	5	113	278	5,642,980	5,624,035	1	8,953	5,236	-	4,753	2
1月	17	2	-	15	32	15,462	15,273	-	178	-	-	9	2
2月	13	3	1	9	31	54,150	53,546	-	476	-	-	128	-
3月	25	4	1	20	46	55,205	52,994	-	1,691	-	-	520	-
4月	8	1	-	7	15	48,371	46,385	-	1,876	-	-	110	-
5月	7	1	2	4	12	27,659	25,697	-	1,827	-	-	135	-
6月	19	2	-	17	45	25,288	24,897	-	205	-	-	186	-
7月	5	2	-	3	6	51,058	50,302	-	-	-	-	756	-
8月	3	-	-	3	4	6,529	1,348	-	-	5,176	-	5	-
9月	4	-	-	4	11	5,263,532	5,263,317	-	-	-	-	215	-
10月	11	1	-	10	22	35,881	35,682	1	36	60	-	102	-
11月	2	1	-	1	3	10,667	7,424	-	1,691	-	-	1,552	-
12月	29	8	1	20	51	49,178	47,170	-	973	-	-	1,035	-
不明	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
総計	143	25	5	113	278	5,642,980	5,624,035	1	8,953	5,236	-	4,753	2
日曜	24	6	1	17	46	71,453	68,439	-	437	-	-	2,577	-
月曜	23	4	-	19	57	89,909	81,012	-	3,305	5,176	-	416	-
火曜	19	3	-	16	33	57,366	56,696	1	374	-	-	293	2
水曜	21	2	2	17	36	48,970	48,264	-	183	-	-	523	-
木曜	17	4	1	12	31	47,517	46,301	-	1,142	-	-	74	-
金曜	13	1	-	12	29	15,285	14,943	-	3	-	-	339	-
土曜	26	5	1	20	46	5,312,476	5,308,380	-	3,509	60	-	527	-
不明	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	4	-

第4表 時間別火災概況 1/2

区分	出火件数 (件)							焼損棟数 (棟)				焼損面積			死傷者 (人)		
	計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	建物 床面積 (㎡)	建物 表面積 (㎡)	林野 面積 (a)	死者	負傷者
総計	257	160	4	19	2	-	72	229	38	10	43	138	13,319	724	10	9	45
0-1時	7	7	-	-	-	-	-	11	3	1	1	6	9,501	11	-	1	2
1-2時	3	3	-	-	-	-	-	3	-	-	1	2	6	3	-	-	2
2-3時	8	5	-	1	-	-	2	6	1	-	-	5	137	-	-	1	1
3-4時	5	4	-	-	-	-	1	11	4	-	3	4	195	95	-	1	-
4-5時	4	3	-	1	-	-	-	3	-	-	-	3	-	-	-	-	1
5-6時	11	8	-	1	-	-	2	12	4	-	4	4	392	73	-	1	2
6-7時	6	4	-	1	-	-	1	4	-	-	1	3	2	-	-	1	-
7-8時	10	3	-	2	1	-	4	3	-	-	1	2	1	7	-	-	1
8-9時	10	8	-	1	-	-	1	8	-	-	-	8	-	2	-	-	1
9-10時	13	7	-	2	-	-	4	7	-	-	3	4	5	6	-	-	3
10-11時	15	8	-	1	-	-	6	15	3	-	2	10	128	15	-	-	2
11-12時	10	8	-	-	-	-	2	9	-	-	4	5	37	96	-	-	2
12-13時	15	11	1	-	-	-	3	18	6	2	1	9	491	81	3	-	3
13-14時	14	7	1	-	-	-	6	14	2	1	2	9	205	11	4	-	1
14-15時	14	7	1	-	-	-	6	10	2	1	3	4	567	22	1	1	2
15-16時	20	11	1	1	1	-	6	11	2	-	2	7	131	8	2	-	1
16-17時	15	7	-	1	-	-	7	9	2	1	3	3	272	74	-	1	1
17-18時	14	10	-	-	-	-	4	18	3	2	3	10	351	53	-	-	5
18-19時	19	11	-	4	-	-	4	21	3	-	6	12	326	108	-	1	3
19-20時	16	10	-	1	-	-	5	13	1	-	2	10	78	30	-	-	5
20-21時	8	3	-	1	-	-	4	5	1	-	-	4	292	-	-	-	2
21-22時	6	4	-	-	-	-	2	5	-	2	-	3	4	28	-	-	1
22-23時	4	3	-	-	-	-	1	3	-	-	-	3	-	-	-	-	1
23-24時	4	3	-	1	-	-	-	3	-	-	1	2	8	-	-	-	2
不明	6	5	-	-	-	-	1	7	1	-	-	6	190	1	-	1	1



第5表 時間別火災概況 2/2

区分	り災世帯数（世帯）				り災人員 （人）	損害額（千円）							
	計	全損	半損	小損		計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	爆発
総計	143	25	5	113	278	5,642,980	5,624,035	1	8,953	5,236	-	4,753	2
0-1時	11	4	-	7	17	5,280,825	5,279,745	-	883	-	-	197	-
1-2時	3	-	-	3	5	580	580	-	-	-	-	-	-
2-3時	3	1	-	2	4	31,438	30,067	-	1,364	-	-	7	-
3-4時	7	1	-	6	16	11,706	9,958	-	181	-	-	1,567	-
4-5時	2	-	-	2	11	61	42	-	16	-	-	3	-
5-6時	7	2	1	4	14	31,606	31,301	-	250	-	-	55	-
6-7時	2	-	-	2	4	492	456	-	24	-	-	12	-
7-8時	2	-	-	2	2	5,655	212	-	267	5,176	-	-	-
8-9時	8	-	-	8	15	801	798	-	3	-	-	-	-
9-10時	3	-	-	3	10	966	314	-	641	-	-	11	-
10-11時	6	1	-	5	10	14,543	13,903	-	363	-	-	277	-
11-12時	10	2	-	8	14	5,221	5,196	-	-	-	-	25	-
12-13時	10	2	-	8	27	44,732	44,389	-	-	-	-	343	-
13-14時	14	4	-	10	28	28,826	28,762	-	49	-	-	15	-
14-15時	6	1	1	4	13	46,564	46,243	1	-	-	-	320	-
15-16時	3	2	-	1	5	8,574	8,450	-	19	60	-	45	-
16-17時	4	1	2	1	6	19,200	19,023	-	153	-	-	24	-
17-18時	12	2	1	9	20	29,947	29,712	-	92	-	-	143	-
18-19時	13	2	-	11	28	46,636	42,641	-	3,075	-	-	918	2
19-20時	7	-	-	7	15	4,080	3,852	-	-	-	-	228	-
20-21時	1	-	-	1	2	19,324	17,605	-	1,250	-	-	469	-
21-22時	2	-	-	2	5	523	520	-	-	-	-	3	-
22-23時	2	-	-	2	2	5,201	5,200	-	-	-	-	1	-
23-24時	1	-	-	1	1	2,096	1,773	-	323	-	-	-	-
不明	4	-	-	4	4	3,383	3,293	-	-	-	-	90	-

第6表 出火原因別火災概況 1/2

区分	出火件数 (件)							焼損棟数 (棟)					焼損面積			死傷者 (人)	
	計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	建物 床面積 (㎡)	建物 表面積 (㎡)	林野 面積 (a)	死者	負傷者
総計	257	160	4	19	2	-	72	229	38	10	43	138	13,319	724	10	9	45
たばこ	39	24	-	-	-	-	15	27	3	-	8	16	351	32	-	-	4
こんろ	31	31	-	-	-	-	-	36	1	-	7	28	165	114	-	1	14
かまど	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
風呂かまど	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
炉	1	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-
焼却炉	2	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-
ストーブ	10	10	-	-	-	-	-	23	4	1	1	17	398	76	-	1	4
こたつ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ボイラー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
煙突・煙道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
排気管	6	2	-	4	-	-	-	2	1	-	-	1	32	-	-	-	-
電気機器	13	9	-	2	-	-	2	10	-	-	1	9	15	4	-	-	2
電気装置	1	1	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	2	-	-	-
電灯・電話等の配線	9	5	-	1	-	-	3	5	-	-	-	5	-	-	-	-	2
内燃機関	2	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
配線器具	13	11	-	-	1	-	1	16	3	1	6	6	291	23	-	1	2
火あそび	5	-	2	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-
マッチ・ライター	4	2	-	-	-	-	2	2	-	-	-	2	-	-	-	-	1
たき火	11	3	1	-	-	-	7	4	3	-	-	1	50	12	3	-	1
溶接機・切断機	5	3	-	-	-	-	2	4	-	1	1	2	81	78	-	-	-
灯火	5	4	-	-	-	-	1	4	-	-	1	3	26	1	-	-	3
衝突の火花	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
取灰	2	2	-	-	-	-	-	4	1	-	1	2	72	30	-	-	-
火入れ	3	2	-	-	-	-	1	2	-	1	1	-	204	3	-	-	1
放火	14	7	-	1	-	-	6	18	3	-	4	11	521	99	-	2	-
放火の疑い	5	1	-	-	-	-	4	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-
その他	52	27	-	5	-	-	20	29	3	3	4	19	9,318	67	-	-	6
不明・調査中	23	15	-	3	1	-	4	40	16	3	7	14	1,795	183	-	4	5

第7表 出火原因別火災概況 2/2

区分	り災世帯数（世帯）				り災人員 （人）	損害額（千円）							
	計	全損	半損	小損		計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	爆発
総計	143	25	5	113	278	5,642,980	5,624,035	1	8,953	5,236	-	4,753	2
たばこ	20	4	2	14	31	24,747	24,525	-	-	-	-	222	-
こんろ	27	1	-	26	48	30,651	29,653	-	-	-	-	998	-
かまど	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
風呂かまど	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
炉	-	-	-	-	-	3	3	-	-	-	-	-	-
焼却炉	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ストーブ	25	8	-	17	42	52,306	51,099	-	896	-	-	311	-
こたつ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ボイラー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
煙突・煙道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
排気管	-	-	-	-	-	611	413	-	198	-	-	-	-
電気機器	6	-	-	6	15	2,708	1,833	-	404	-	-	469	2
電気装置	-	-	-	-	-	2	1	-	-	-	-	1	-
電灯・電話等の配線	2	-	-	2	4	22,695	22,592	-	39	-	-	64	-
内燃機関	-	-	-	-	-	35	-	-	35	-	-	-	-
配線器具	9	1	-	8	15	24,506	24,425	-	2	60	-	19	-
火あそび	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	1	-
マッチ・ライター	2	-	-	2	3	15	1	-	-	-	-	14	-
たき火	-	-	-	-	-	503	484	-	-	-	-	19	-
溶接機・切断機	1	-	-	1	1	21,896	21,605	-	-	-	-	291	-
灯火	6	1	-	5	11	9,032	9,025	-	-	-	-	7	-
衝突の火花	-	-	-	-	-	65	-	-	65	-	-	-	-
取灰	2	-	-	2	7	1,108	1,108	-	-	-	-	-	-
火入れ	1	-	1	-	2	9,988	9,957	-	-	-	-	31	-
放火	12	2	-	10	27	39,295	39,039	-	181	-	-	75	-
放火の疑い	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	2	-
その他	11	-	-	11	29	5,263,748	5,260,270	-	3,243	-	-	235	-
不明・調査中	19	8	2	9	43	139,063	128,002	1	3,890	5,176	-	1,994	-

第8表 出火原因別・月別火災発生件数

区分	総計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	不明
総計	257	28	21	32	23	20	22	21	10	10	31	12	27	-
たばこ	39	1	4	4	2	5	7	1	3	3	4	1	4	-
こんろ	31	7	1	4	2	2	1	5	1	1	1	3	3	-
かまど	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
風呂かまど	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
炉	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
焼却炉	2	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-
ストーブ	10	-	2	3	1	-	-	-	-	-	-	-	4	-
こたつ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ボイラー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
煙突・煙道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
排気管	6	2	1	1	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-
電気機器	13	2	-	2	1	1	1	2	-	1	-	-	3	-
電気装置	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
電灯・電話等の配線	9	1	-	1	-	-	2	3	-	-	1	-	1	-
内燃機関	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-
配線器具	13	1	1	1	3	1	1	-	-	1	4	-	-	-
火あそび	5	-	-	-	1	-	1	1	-	-	-	1	1	-
マッチ・ライター	4	1	1	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-
たき火	11	-	1	1	2	1	-	-	-	1	5	-	-	-
溶接機・切断機	5	1	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	2	-
灯火	5	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	-	2	-
衝突の火花	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
取灰	2	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
火入れ	3	-	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
放火	14	5	1	1	1	2	2	2	-	-	-	-	-	-
放火の疑い	5	-	-	-	-	2	-	2	1	-	-	-	-	-
その他	52	4	4	8	8	2	2	1	3	1	9	4	6	-
不明・調査中	23	2	3	4	1	3	1	2	1	1	2	2	1	-

第9表 出火原因別・月別火災発生件数

区分	総計	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	不明
		1時	2時	3時	4時	5時	6時	7時	8時	9時	10時	11時	12時	13時	14時	15時	16時	17時	18時	19時	20時	21時	22時	23時		
総計	257	7	3	8	5	4	11	6	10	10	13	15	10	15	14	14	20	15	14	19	16	8	6	4	4	6
たばこ	39	1	-	2	-	-	1	-	2	2	2	-	2	3	4	3	5	1	2	4	3	-	1	-	-	1
こんろ	31	-	-	-	2	-	-	-	-	2	2	1	1	1	1	1	1	1	4	3	3	2	1	2	1	2
かまど	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
風呂かまど	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
炉	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
焼却炉	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ストーブ	10	1	1	-	-	-	1	1	-	1	-	2	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-
こたつ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ボイラー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
煙突・煙道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
排気管	6	-	-	-	-	-	-	1	1	1	1	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
電気機器	13	1	-	1	-	2	1	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	1	2	-	1	1	-	-	-
電気装置	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
電灯・電話等の配線	9	1	-	1	-	-	1	2	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	-	-	-	-	-
内燃機関	2	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-
配線器具	13	-	1	-	-	-	2	1	-	-	2	1	1	-	-	-	2	-	1	-	-	-	1	-	1	-
火あそび	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	1	1	1	-	-	-	-	-	-	-
マッチ・ライター	4	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
たき火	11	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	3	-	3	1	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-
溶接機・切断機	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	1	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-
灯火	5	1	1	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
衝突の火花	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
取灰	2	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
火入れ	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
放火	14	-	-	1	1	-	1	-	1	1	-	-	-	-	1	-	-	-	1	1	1	1	1	1	1	-
放火の疑い	5	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-	-	-
その他	52	2	-	1	-	-	1	1	1	2	4	5	2	3	3	4	8	1	2	5	4	2	1	-	-	-
不明・調査中	23	-	-	1	1	-	3	-	2	-	-	1	-	2	1	1	1	2	1	2	2	-	-	1	1	1

第10表 風速・湿度別火災概況 1/2

風速 (m/s)	湿度 (%)	出火件数 (件)							焼損棟数 (棟)					焼損面積			死傷者 (人)	
		計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	建物 床面積 (㎡)	建物 表面積 (㎡)	林野 面積 (a)	死者	負傷者
総計		257	160	4	19	2	-	72	229	38	10	43	138	13,319	724	10	9	45
0-3 未 満	35 未満	14	9	1	-	-	-	4	9	3	1	2	3	189	28	2	-	2
	35~54	80	45	3	5	1	-	26	90	20	5	21	44	2,478	392	8	6	13
	55~74	88	57	-	11	-	-	20	67	8	3	12	44	10,187	272	-	3	18
	75 以上	51	36	-	3	1	-	11	48	5	1	6	36	385	24	-	-	9
	不明	1	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	1
3-6 未 満	35 未満	3	1	-	-	-	-	2	1	-	-	1	-	15	4	-	-	-
	35~54	6	4	-	-	-	-	2	5	1	-	-	4	52	1	-	-	-
	55~74	10	6	-	-	-	-	4	7	1	-	1	5	13	3	-	-	2
	75 以上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	不明	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6-9 未 満	35 未満	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	35~54	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	55~74	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	75 以上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	不明	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
9 以上	35 未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	35~54	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	55~74	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	75 以上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	不明	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
不明	35 未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	35~54	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	55~74	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	75 以上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	不明	2	1	-	-	-	-	1	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-

第11表 風速・湿度別火災概況 2/2

風速 (m/s)	湿度 (%)	り災世帯数 (世帯)				り災人員 (人)	損害額 (千円)							
		計	全損	半損	小損		計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	爆発
総計		143	25	5	113	278	5,642,980	5,624,035	1	8,953	5,236	-	4,753	2
0-3 未満	35未満	4	1	-	3	8	11,985	11,795	-	-	-	-	190	-
	35~54	65	14	4	47	134	210,833	207,851	1	1,581	60	-	1,340	-
	55~74	46	8	1	37	90	5,359,241	5,352,511	-	5,955	-	-	773	2
	75以上	21	2	-	19	36	57,047	48,020	-	1,417	5,176	-	2,434	-
	不明	2	-	-	2	2	2	2	-	-	-	-	-	-
3-6 未満	35未満	1	-	-	1	1	1,575	1,575	-	-	-	-	-	-
	35~54	1	-	-	1	1	2,086	2,086	-	-	-	-	-	-
	55~74	2	-	-	2	5	207	195	-	-	-	-	12	-
	75以上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	不明	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
6-9 未満	35未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	35~54	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	55~74	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	75以上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	不明	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
9 以上	35未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	35~54	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	55~74	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	75以上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	不明	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
不明	35未満	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	35~54	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	55~74	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	75以上	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	不明	1	-	-	1	1	4	-	-	-	-	-	4	-

第12表 火元建物用途別概況 1/2

区分	出火件数 (件)							焼損棟数 (棟)					焼損面積			死傷者 (人)	
	計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	建物床面積 (㎡)	建物表面積 (㎡)	林野面積 (a)	死者	負傷者
総計	160	160	-	-	-	-	-	224	38	10	43	133	13,319	724	-	9	42
住宅火災	住宅	54	54	-	-	-	-	115	28	5	21	61	2,826	423	-	8	17
	併用住宅	1	1	-	-	-	-	1	-	-	1	-	4	-	-	-	-
	共同住宅	35	35	-	-	-	-	35	-	1	5	29	159	143	-	1	7
住宅火災 計	90	90	-	-	-	-	-	151	28	6	27	90	2,989	566	-	9	24
劇場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
公会堂	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
キャバレー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
遊技場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
性風俗店	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
料理店	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
飲食	2	2	-	-	-	-	-	2	-	-	1	1	1	3	-	-	1
物品販売店舗	1	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-
旅館	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
病院	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
社会福祉施設	1	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-
幼稚園	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
学校	1	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-
図書館	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
特殊浴場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
公衆浴場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
停車場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神社・寺院	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
工場	13	13	-	-	-	-	-	12	2	-	1	9	9,529	6	-	-	3
スタジオ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
駐車場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
航空機格納庫	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
倉庫	3	3	-	-	-	-	-	4	3	-	1	-	304	2	-	-	-
事務所	4	4	-	-	-	-	-	4	1	1	2	-	12	37	-	-	-
複合用途 (特定)	19	19	-	-	-	-	-	19	-	-	3	16	74	11	-	-	5
複合用途 (非特定)	16	16	-	-	-	-	-	15	-	-	3	12	47	6	-	-	7
地下街	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
準地下街	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
文化財	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	10	10	-	-	-	-	-	14	4	3	5	2	363	93	-	-	2



第13表 火元建物用途別概況 2/2

区分	り災世帯数（世帯）				り災人員 （人）	損害額（千円）								
	計	全損	半損	小損		計	建物	林野	車両	船舶	航空機	その他	爆発	
総計	143	25	5	113	278	5,630,379	5,624,027	1	2,637	-	-	3,712	2	
住宅火災	住宅	89	20	1	68	198	219,118	213,590	1	2,547	-	-	2,980	-
	併用住宅	-	-	-	-	-	171	171	-	-	-	-	-	-
	共同住宅	35	3	2	30	49	31,203	30,969	-	-	-	-	234	-
住宅火災 計	124	23	3	98	247	250,492	244,730	1	2,547	-	-	3,214	2	
劇場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
公会堂	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
キャバレー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
遊技場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
性風俗店	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
料理店	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
飲食	-	-	-	-	-	77	77	-	-	-	-	-	-	-
物品販売店舗	-	-	-	-	-	20	20	-	-	-	-	-	-	-
旅館	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
病院	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
社会福祉施設	-	-	-	-	-	3	3	-	-	-	-	-	-	-
幼稚園	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
学校	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	-	-
図書館	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
特殊浴場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
公衆浴場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
停車場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神社・寺院	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
工場	-	-	-	-	-	5,298,428	5,298,203	-	-	-	-	223	2	
スタジオ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
駐車場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
航空機格納庫	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
倉庫	-	-	-	-	-	17,654	17,640	-	-	-	-	14	-	
事務所	-	-	-	-	-	1,174	1,174	-	-	-	-	-	-	
複合用途（特定）	2	-	-	2	2	29,223	29,048	-	-	-	-	175	-	
複合用途（非特定）	12	1	-	11	18	13,557	13,557	-	-	-	-	-	-	
地下街	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
準地下街	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
文化財	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
その他	5	1	2	2	11	19,750	19,574	-	90	-	-	86	-	

第14表 建物分類別・月別火災発生件数

区分	総計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	不明
総計	257	28	21	32	23	20	22	21	10	10	31	12	27	-
建物火災計	160	18	14	24	11	9	13	13	5	9	17	7	20	-
住宅火災														
住宅	54	8	4	9	5	3	7	2	3	1	5	2	5	-
併用住宅	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
共同住宅	35	2	4	6	2	3	2	3	2	2	5	1	3	-
住宅火災計	90	10	8	15	7	6	9	5	5	3	10	4	8	-
劇場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
公会堂	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
キャバレー	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
遊技場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
性風俗店	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
料理店	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
飲食	2	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	-	-
物品販売店舗	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
旅館	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
病院	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
社会福祉施設	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
幼稚園	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
学校	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
図書館	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
特殊浴場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
公衆浴場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
停車場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
神社・寺院	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
工場	13	1	3	2	-	-	1	1	-	1	2	-	2	-
スタジオ	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
駐車場	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
航空機格納庫	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
倉庫	3	-	-	-	-	1	1	-	-	-	1	-	-	-
事務所	4	2	-	-	-	1	-	-	-	-	1	-	-	-
複合用途(特定)	19	2	-	3	1	1	-	3	-	3	1	3	2	-
複合用途(非特定)	16	3	1	1	-	-	1	2	-	1	-	-	7	-
地下街	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
準地下街	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
文化財	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	10	-	1	2	3	-	-	1	-	1	1	-	1	-
林野火災	4	-	-	-	1	1	-	2	-	-	-	-	-	-
車両火災計	19	4	2	2	3	2	1	-	-	-	2	3	-	-
自動車	19	4	2	2	3	2	1	-	-	-	2	3	-	-
鉄道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
船舶火災	2	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-
航空機火災	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他の火災	72	6	5	6	8	8	8	6	4	1	11	2	7	-

第15表 管轄署所別火災発生状況

管轄署所		火災件数 (件)	死者数 (人)	負傷者数 (人)
中消防署	中消防署	22	0	9
	白島出張所	5	0	0
	基町出張所	6	0	1
	江波出張所	12	0	2
中消防署計		45	0	12
東消防署	東消防署	9	1	3
	福田出張所	1	0	0
	温品出張所	3	0	1
	戸坂出張所	3	0	0
東消防署計		16	1	4
南消防署	南消防署	11	1	0
	水上出張所	4	0	1
	青崎出張所	5	0	0
	東本浦出張所	1	0	0
	宇品出張所	2	0	0
	日字那出張所	1	0	1
	似島出張所	2	0	0
南消防署計		26	1	2
西消防署	西消防署	7	0	0
	三篠出張所	13	2	1
	己斐出張所	1	0	0
	庚午出張所	8	0	3
	井口出張所	3	0	1
西消防署計		32	2	5
安佐南消防署	安佐南消防署	14	0	2
	上安出張所	7	0	2
	祇園出張所	4	0	1
	沼田出張所	7	0	1
安佐南消防署計		32	0	6
安佐北消防署	安佐北消防署	11	0	1
	白木出張所	7	0	0
	高陽出張所	16	1	4
	可部出張所	7	0	3
	安佐出張所	3	0	1
	安芸太田出張所	3	0	0
安佐北消防署計		47	1	9
安芸消防署	安芸消防署	5	0	0
	瀬野川出張所	10	2	1
	矢野出張所	7	0	1
	熊野出張所	5	1	2
	坂出張所	1	0	0
安芸消防署計		28	3	4
佐伯消防署	佐伯消防署	6	1	0
	湯来出張所	5	0	0
	石内出張所	2	0	1
	八幡出張所	12	0	2
	海老園出張所	6	0	0
佐伯消防署計		31	1	3
総計		257	9	45

付属資料 昭和23年以降の火災発生状況

年 別	出 火 件 数						焼 損 面 積			損害額(千円) ( )は建物損害	物 価 指 数	死 傷 者		焼 損 棟 数	り 災		世 帯 数 ( )は人口	備 考
	総件数	建 物	林 野	車 両	船 舶	航空機	その他	床面積㎡	表面積㎡			林野a	死者		傷者	世帯		
昭和23年	99	97	2	0	0	0	17,929	…	…	170,074 ( … )	11.6	…	29	…	…	…	61,361 ( 246,134)	昭和23年1月1日からの統計
昭和24年	114	110	2	1	1	0	23,219	…	…	292,947 ( 89,645)	15.3	…	93	…	…	…	67,549 ( 270,863)	
昭和25年	166	126	6	3	0	31	20,006	…	…	132,364 ( 25,039)	14.2	2	50	…	…	…	73,006 ( 288,003)	
昭和26年	144	133	1	5	3	2	24,651	…	…	179,421 ( 177,282)	16.6	1	39	…	…	…	76,531 ( 302,372)	
昭和27年	105	75	3	6	1	20	9,064	…	139	102,576 ( 101,463)	17.4	1	31	…	…	…	78,531 ( 321,973)	
昭和28年	182	135	3	17	2	25	13,441	…	404	98,963 ( 97,900)	18.6	…	…	…	…	…	86,215 ( 345,219)	
昭和29年	282	236	3	18	1	24	4,278	…	30	51,833 ( 50,697)	19.8	…	…	…	…	…	91,924 ( 361,367)	
昭和30年	330	262	17	30	0	21	16,025	…	644	125,056 ( 124,692)	19.5	…	…	…	…	…	96,897 ( 374,793)	4.1戸坂村編入
昭和31年	366	302	7	28	3	26	13,754	…	44	169,251 ( 167,201)	19.6	0	32	…	…	…	101,255 ( 388,347)	4.1中山村編入 11.1井口村編入
昭和32年	352	289	19	15	3	26	10,666	…	1,234	133,715 ( 130,230)	20.2	1	29	…	…	…	107,102 ( 403,402)	
昭和33年	367	304	17	24	1	21	7,106	…	86	68,599 ( 67,674)	20.1	4	36	…	…	…	113,580 ( 419,573)	
昭和34年	308	236	20	33	2	17	6,721	…	92	82,140 ( 81,455)	20.3	4	32	299	279	…	119,636 ( 433,528)	
昭和35年	351	274	21	27	5	24	10,243	…	743	101,247 ( 100,380)	21.1	7	43	367	359	1,314	125,080 ( 445,727)	
昭和36年	306	242	15	29	3	17	11,776	…	650	108,918 ( 107,908)	22.2	3	19	379	301	1,059	131,961 ( 462,703)	
昭和37年	306	229	24	42	5	6	10,946	…	301	158,330 ( 156,165)	23.7	3	18	323	221	826	139,840 ( 480,576)	
昭和38年	317	225	25	48	5	14	10,231	…	309	129,580 ( 126,555)	25.6	4	26	409	298	994	147,079 ( 494,079)	
昭和39年	333	244	24	40	4	21	11,060	…	158	198,666 ( 197,003)	26.5	3	30	330	223	745	155,944 ( 511,611)	
昭和40年	337	234	42	39	5	17	14,670	…	3,532	254,060 ( 251,748)	28.3	14	55	520	296	982	163,039 ( 524,558)	
昭和41年	277	205	17	39	3	13	17,546	…	116	310,812 ( 309,283)	29.8	2	57	402	256	820	169,188 ( 532,676)	

※(1)出火件数等は昭和36年までは消防年報、37年以降は各年の火災原因損害統計による。(2)世帯数・人口は安芸区を除いたもので、消防年報による。(3)物価指数は消費者物価指数(全国値)で昭和60年を100としたもの。(4)…は不詳を表す。

年 別	出 火 件 数							焼 損 面 積			損害額(千円) ( )は建物損害	物 価 指 数	死 傷 者		焼 損 棟 数	り 災		世 帯 数 ( )は人口	備 考
	総件数	建 物	林 野	車 両	船 舶	航空機	その他	床面積㎡	表面積㎡	林野a			死者	傷者		世帯	人員		
昭和42年	350	232	45	45	4	24	12,417	…	10,088	200,117 ( 195,741)	30.9	9	63	440	404	1,154	175,985 ( 543,079)		
昭和43年	314	236	26	33	3	16	8,640	…	260	164,482 ( 163,255)	32.6	9	40	373	192	617	183,835 ( 551,259)		
昭和44年	308	225	17	39	4	0	23	7,283	…	1,086	279,731 ( 264,302)	34.3	2	37	326	200	646	188,006 ( 556,791)	
昭和45年	324	218	47	33	0	0	26	10,245	…	3,973	274,432 ( 266,154)	36.9	5	31	403	421	1,213	191,393 ( 558,014)	
昭和46年	344	246	23	35	4	0	36	9,671	…	51	374,665 ( 367,597)	39.3	5	32	356	405	1,140	201,409 ( 574,924)	4.1沼田町編入 5.20安佐町編入
昭和47年	317	232	27	17	3	0	38	7,419	…	114	283,432 ( 272,335)	41.2	3	53	321	311	976	240,841 ( 672,845)	4.1可部町編入 8.27祇園町編入
昭和48年	372	241	37	25	0	0	69	10,055	…	7,037	352,123 ( 348,176)	46.0	6	39	322	275	849	268,723 ( 740,340)	3.20安古市町・高陽町・佐東町・瀬 野川町編入 10.22白木町編入
昭和49年	428	260	42	26	1	0	99	6,546	…	3,036	339,179 ( 332,374)	56.7	11	60	315	269	801	281,032 ( 772,226)	11.1熊野跡村・安芸町編入
昭和50年	409	262	29	21	1	0	96	11,676	…	3,620	670,199 ( 651,402)	63.3	13	33	353	322	988	285,864 ( 783,497)	3.20矢野町・船越町編入
昭和51年	394	254	22	23	2	0	93	11,220	…	407	1,201,501 ( 1,176,121)	69.3	7	68	362	373	1,032	288,003 ( 791,637)	
昭和52年	505	286	46	28	2	0	143	6,633	…	1,547	923,628 ( 912,894)	74.9	12	59	397	290	870	290,984 ( 800,227)	
昭和53年	584	304	54	21	4	0	201	8,948	…	2,339	681,287 ( 607,118)	78.1	14	68	440	363	1,115	294,038 ( 807,008)	
昭和54年	539	305	42	44	1	0	147	10,441	…	643	831,359 ( 814,933)	81.0	12	62	491	379	1,073	297,943 ( 815,556)	
昭和55年	484	281	25	46	2	0	130	6,160	…	128	540,544 ( 532,599)	87.3	13	56	393	347	980	304,209 ( 826,919)	4.1区政施行
昭和56年	463	270	34	27	0	0	132	5,646	…	52	544,767 ( 532,442)	91.5	12	49	354	286	756	309,500 ( 837,636)	
昭和57年	522	258	60	42	7	0	155	4,984	…	224	501,261 ( 494,133)	94.1	13	55	339	282	753	313,607 ( 845,470)	
昭和58年	445	260	24	39	1	0	121	8,844	…	162	799,768 ( 773,134)	95.8	10	52	400	319	854	318,699 ( 854,200)	
昭和59年	467	271	19	32	2	0	143	6,701	…	326	526,562 ( 520,179)	98.0	6	63	390	323	863	323,576 ( 863,000)	
昭和60年	473	292	42	32	0	0	107	9,508	…	319	1,117,544 ( 1,109,240)	100.0	10	65	455	386	1,112	360,891 ( 969,969)	3.20五日市町編入(佐伯区となる)

※(1)出火件数等は昭和36年までは消防年報、37年以降は各年の火災原因損害統計による。(2)世帯数・人口は12月末現在の安芸区分を除いたもので、各年の消防年報による。

(3)昭和44年火災報告取扱要領の改正に伴い航空機火災を其他火災から分離。(4)物価指数は消費者物価指数(全国値)で昭和60年を100としたもの。

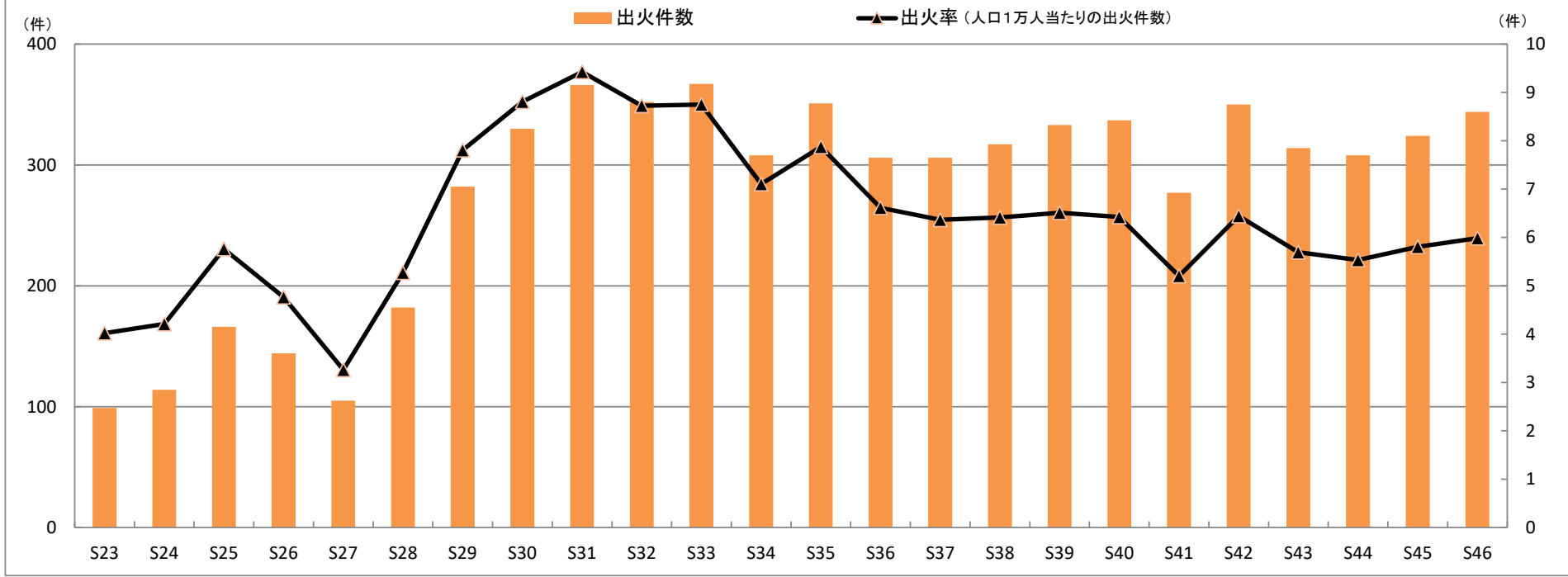
年 別	出 火 件 数							焼 損 面 積			損害額(千円) ( )は建物損害	物 価 指 数	死 傷 者		焼 損 棟 数	り 災		世 帯 数 ( )は人口	備 考	
	総件数	建 物	林 野	車 両		船 舶	航空機	その他	床面積㎡	表面積㎡			林野a	死者		傷者	世帯			人員
				自動車	鉄道															
昭和61年	595	349	40	48	1	4	0	157	7,888		2,416	646,871 ( 589,162)	100.6	23	61	490	369	1,095	367,079 ( 980,640)	
昭和62年	532	323	32	37	0	3	0	140	6,163		234	529,768 ( 523,034)	100.7	17	55	449	345	972	372,653 ( 989,790)	
昭和63年	587	336	34	54	0	4	0	163	10,571		106	1,173,725 ( 1,159,445)	101.4	13	68	479	391	1,048	378,173 ( 997,212)	
平成元年	556	316	39	49	2	0	0	150	5,282		145	631,862 ( 554,749)	103.7	12	57	435	326	890	383,998 ( 1,003,896)	
平成2年	610	323	22	80	...	3	0	182	5,483	...	157	720,430 ( 684,499)	106.9	15	71	453	371	1,026	390,290 ( 1,010,438)	
平成3年	593	327	32	71	...	2	0	161	7,130	...	1,030	947,503 ( 920,172)	95.1	9	65	463	335	900	390,645 ( 1,001,851)	
平成4年	539	305	25	54	...	5	0	150	5,232	...	181	913,479 ( 849,311)	96.7	6	35	416	252	745	395,225 ( 1,010,462)	
平成5年	528	313	27	51	...	2	0	135	4,853	...	279	623,084 ( 590,237)	98.0	6	65	445	346	891	407,762 ( 1,024,280)	
平成6年	638	302	49	49	...	2	0	236	5,846	...	819	928,275 ( 859,004)	98.6	15	90	431	373	975	405,381 ( 1,018,728)	
平成7年	562	299	32	64	0	2	0	165	6,721	1,786	126	854,102 ( 824,496)	98.5	8	46	368	250	666	410,464 ( 1,022,755)	
平成8年	557	316	20	52	0	2	0	167	4,114	2,334	31	709,429 ( 682,033)	98.6	10	79	383	359	903	422,282 ( 1,035,527)	
平成9年	579	332	22	61	0	1	0	163	5,756	1,312	59	770,261 ( 747,335)	100.4	16	70	409	292	752	421,506 ( 1,027,012)	
平成10年	509	306	17	55	0	1	0	130	4,769	1,975	41	542,545 ( 502,450)	101.0	9	67	369	257	650	432,484 ( 1,044,795)	
平成11年	571	337	19	67	1	0	0	147	5,500	1,478	126	651,063 ( 261,088)	100.7	17	63	423	326	841	437,070 ( 1,047,868)	
平成12年	516	300	27	62	0	0	0	125	5,860	2,363	25	687,153 ( 645,238)	100.0	8	78	384	295	742	441,339 ( 1,051,817)	
平成13年	600	334	22	71	0	3	0	170	11,956	4,188	59	1,663,184 ( 1,641,657)	99.1	15	65	467	347	891	437,070 ( 1,047,868)	
平成14年	575	320	29	65	0	1	0	160	3,945	2,130	98	455,921 ( 438,184)	98.5	9	90	401	277	646	450,849 (1,060,049)	
平成15年	444	275	15	46	0	0	0	108	4,377	2,395	76	719,393 ( 707,944)	98.1	15	71	361	276	645	455,586 (1,063,810)	
平成16年	434	239	23	55	0	1	0	116	12,288	8,719	64	4,092,925 (4,078,224)	97.8	8	70	301	280	586	442,070 (1,069,118)	

※(1)出火件数等は昭和36年までは消防年報、37年以降は各年の火災原因損害統計による。(2)世帯数・人口は12月末現在の住民基本台帳登録人口及び外国人登録人口で安芸区及び佐伯区のうち湯来地区を除いたもの。(3)昭和44年火災報告取扱要領の改正に伴い航空機火災をその他火災から分離。(4)平成17年以降の物価指数は消費者物価指数(全国値)で平成17年を100としたもの。(5)年ごとに基準みなおし)

年 別	出 火 件 数							焼 損 面 積			損害額(千円) ( )は建物損害	死 傷 者		焼 損 棟 数	り 災		世 帯 数 ( )は人口	備 考	
	総件数	建 物	林 野	車 両		船 舶	航空機	その他	床面積㎡	表面積㎡		林野a	死者		傷者	世帯			人員
				自動車	鉄道														
平成17年	474	275	9	68	0	2	0	120	5,472	1,890	52	547,285 (525,461)	19	83	397	305	736	466,611 (1,072,712)	
平成18年	452	296	2	42	0	0	0	112	7,125	2,253	722	1,010,625 (1,001,037)	19	90	379	348	824	472,693 (1,075,804)	
平成19年	543	325	15	47	0	1	0	155	8,451	5,029	33	817,571 (789,498)	14	84	446	356	805	550,495 (1,246,047)	平成19年4月から広島市佐伯区湯来町、広島市安芸区、海田町、坂町、熊野町、安芸太田町、廿日市吉和地区が管轄区域となる。
平成20年	548	323	22	40	0	0	0	163	5,654	2,947	293	1,015,807 (993,060)	16	96	410	307	774	550,981 (1,247,084)	
平成21年	506	260	16	46	0	1	0	183	8,326	2,389	28	814,173 (771,691)	13	65	358	331	686	551,333 (1,244,640)	
平成22年	514	249	21	55	0	0	0	189	5,545	1,280	31	600,332 (543,983)	12	62	318	260	572	559,472 (1,251,557)	
平成23年	479	260	23	33	0	0	0	163	5,804	1,372	61	516,273 (510,522)	11	55	340	271	601	559,531 (1,251,368)	
平成24年	395	215	16	40	0	2	0	122	3,953	1,057	17	493,964 (468,962)	12	60	279	243	537	563,671 (1,253,733)	
平成25年	420	249	12	37	0	0	0	122	7,311	876	37	789,831 (777,333)	9	50	325	218	461	567,736 (1,257,629)	
平成26年	378	229	8	37	1	1	0	102	5,700	991	86	635,924 (614,265)	30	65	319	256	551	573,267 (1,260,790)	
平成27年	305	198	5	19	0	0	0	83	5,188	1,747	9	448,839 (440,703)	20	64	242	195	411	577,756 (1,262,631)	
平成28年	299	187	5	33	0	1	0	73	3,358	570	45	490,488 (211,058)	5	54	229	153	350	583,775 (1,265,234)	
平成29年	316	204	4	20	0	0	0	88	4,082	1,060	14	474,180 (284,469)	8	60	277	219	462	588,982 (1,267,410)	
平成30年	260	161	6	20	0	1	0	72	4,068	1,239	399	539,614 (206,780)	10	49	225	217	438	593,572 (1,267,935)	
令和元年	277	168	3	25	0	0	0	81	3,690	1,031	56	361,434 (352,052)	9	40	233	172	360	598,909 (1,268,332)	
令和2年	229	145	5	16	0	0	0	63	3,727	596	11	270,035 (258,382)	5	51	188	150	313	603,992 (1,267,846)	
令和3年	247	154	6	27	0	1	0	59	6,293	2,102	39	802,773 (778,936)	15	39	254	190	376	608,750 (1,266,065)	
令和4年	257	160	4	19	0	2	0	72	13,319	724	10	5,642,980 (3,838,167)	9	45	229	143	278	609,976 (1,259,535)	

※(1)出火件数等は昭和36年までは消防年報、37年以降は各年の火災原因損害統計による。(2)昭和44年火災報告取扱要領の改正に伴い航空機火災をその他火災から分離。

# 火災の推移状況

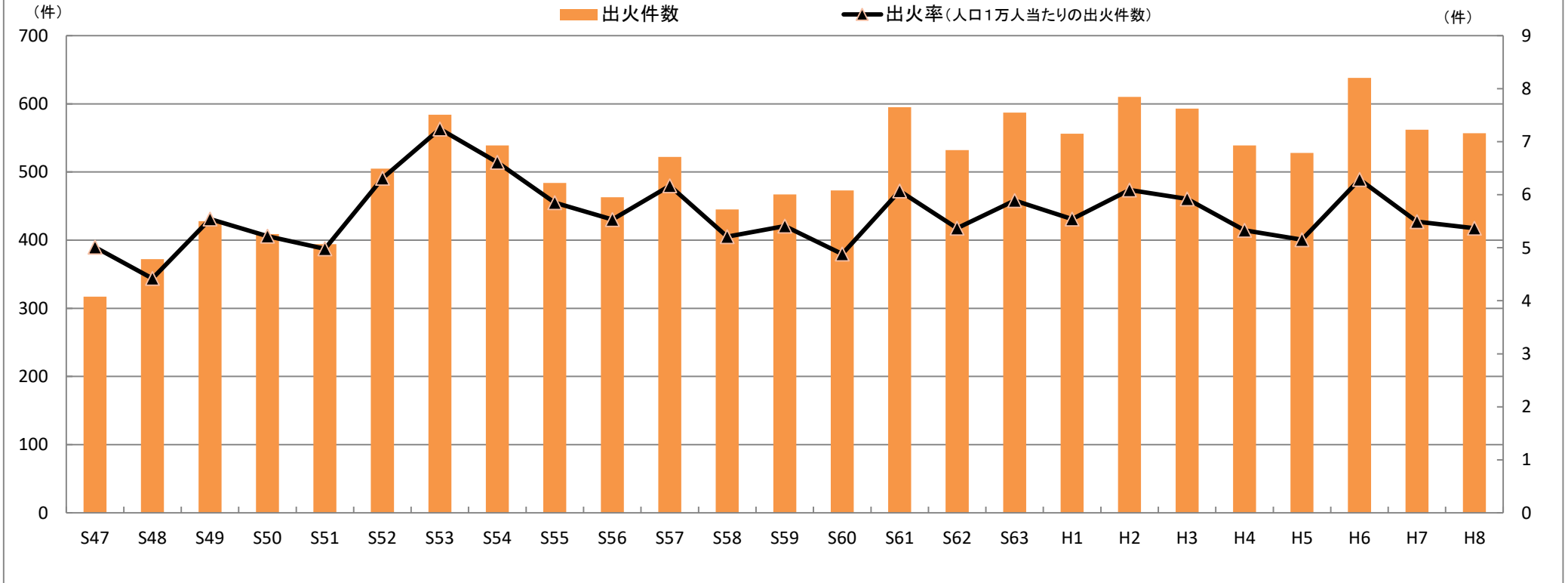


	S23	S24	S25	S26	S27	S28	S29	S30	S31	S32	S33	S34	S35	S36	S37	S38	S39	S40	S41	S42	S43	S44	S45	S46
出火件数	99	114	166	144	105	182	282	330	366	352	367	308	351	306	306	317	333	337	277	350	314	308	324	344
人口	246,134	270,863	288,003	302,372	321,973	345,219	361,367	374,793	388,347	403,402	419,573	433,528	445,727	462,703	480,576	494,079	511,611	524,558	532,676	543,079	551,259	556,791	558,014	574,924
出火率	4.02	4.21	5.76	4.76	3.26	5.27	7.80	8.80	9.42	8.73	8.75	7.10	7.87	6.61	6.37	6.42	6.51	6.42	5.20	6.44	5.70	5.53	5.81	5.98

※ 出火件数、人口ともに安芸区を除く。



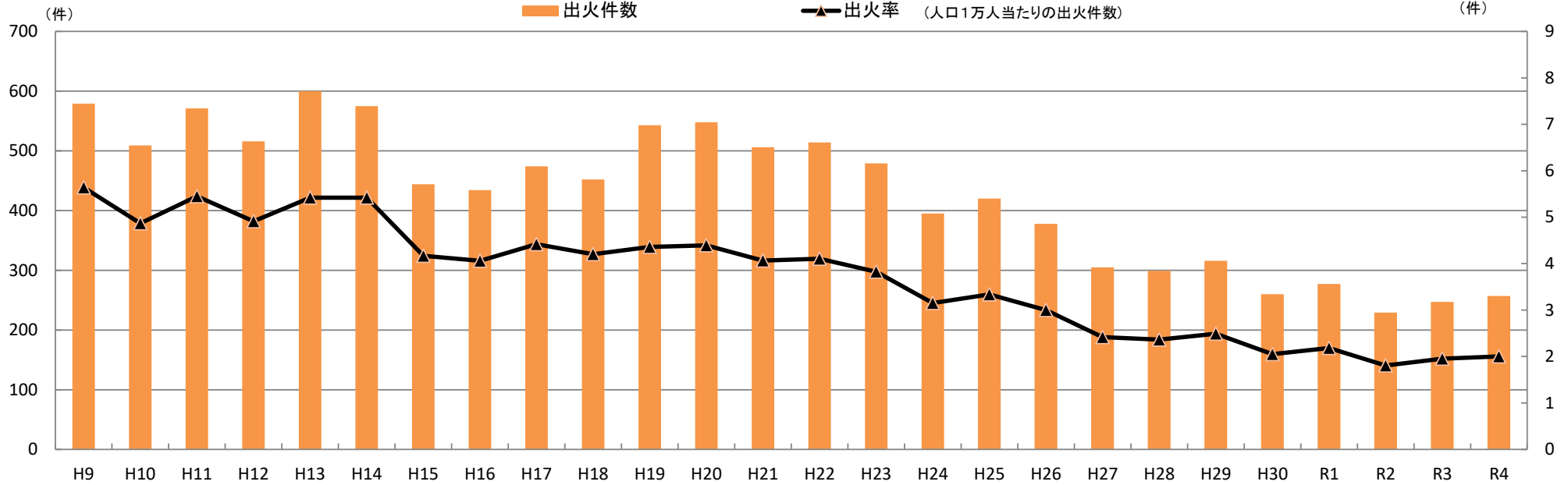
# 火災の推移状況



	S47	S48	S49	S50	S51	S52	S53	S54	S55	S56	S57	S58	S59	S60	S61	S62	S63	H1	H2	H3	H4	H5	H6	H7	H8
出火件数	317	372	428	409	394	505	584	539	484	463	522	445	467	473	595	532	587	556	610	593	539	528	638	562	557
人口	672,845	740,340	772,226	783,497	791,637	800,227	807,008	815,556	826,919	837,636	845,470	845,200	863,000	969,969	980,640	989,790	997,212	1,003,896	1,010,438	1,001,850	1,010,462	1,024,280	1,018,728	1,022,750	1,035,527
出火率	5.01	4.42	5.54	5.22	4.98	6.31	7.24	6.61	5.85	5.53	6.17	5.21	5.41	4.88	6.07	5.37	5.89	5.54	6.09	5.92	5.33	5.15	6.29	5.49	5.37

※ 出火件数、人口ともに安芸区を除く。

# 火災の推移状況



	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4
出火件数	579	509	571	516	600	575	444	434	474	452	543	548	506	514	479	395	420	378	305	299	316	260	277	229	247	257
人口	1,027,012	1,044,795	1,047,868	1,051,817	1,047,868	1,060,049	1,063,810	1,069,118	1,072,712	1,075,804	1,246,047	1,247,084	1,244,640	1,251,557	1,251,368	1,253,733	1,257,629	1,260,790	1,262,631	1,265,234	1,267,410	1,267,935	1,268,332	1,267,846	1,266,065	1,259,535
出火率	5.64	4.87	5.45	4.91	5.42	5.42	4.17	4.06	4.42	4.20	4.36	4.39	4.07	4.11	3.83	3.15	3.34	3.00	2.42	2.36	2.49	2.05	2.18	1.81	1.95	2.00

平成19年以降は、安芸区、佐伯区湯来町、海田町、坂町、熊野町、安芸太田町、廿日市市吉和を含む。

令和4年(2022年) 広島市消防局火災統計

---

広島市消防局予防部予防課調査係

〒730-0051

広島市中区大手町五丁目20番12号

TEL (082) 546-3453 内線 71-415・416・417

FAX (082) 249-1160